

3. 整備要領

	ページ
3-1 ブレーキ.....	2
1 概要.....	2
2 フロントブレーキパッド (12 インチフロントブレーキ).....	5
3 フロントディスクローター (12 インチフロントブレーキ).....	5
4 ディスクブレーキ ASSY (12 インチフロントブレーキ).....	7
3-2 ドアロックシステム.....	9
1 概要.....	9
2 キーレスエントリーシステム.....	10
3 キーレスエントリーコントロールユニット.....	18
4 リモコンキー.....	18
5 機能設定 (カスタマイズ).....	20
6 ドアロックスイッチ.....	22
3-3 エアバッグ.....	23
1 基本診断手順.....	23
2 概要.....	23
3 エアバッグコントロールユニット I/O 信号.....	34
4 エアバッグコネクタ.....	35
5 エアバッグ警告灯の点灯パターン.....	37
6 スバルセレクトモニター.....	37
7 クリアメモリーモード.....	38
8 エアバッグ警告灯の不具合.....	39
9 ダイアグコード一覧表.....	43
10 ダイアグコード別診断.....	44

ブレーキ

3-1 ブレーキ

1 概要

A: 仕様

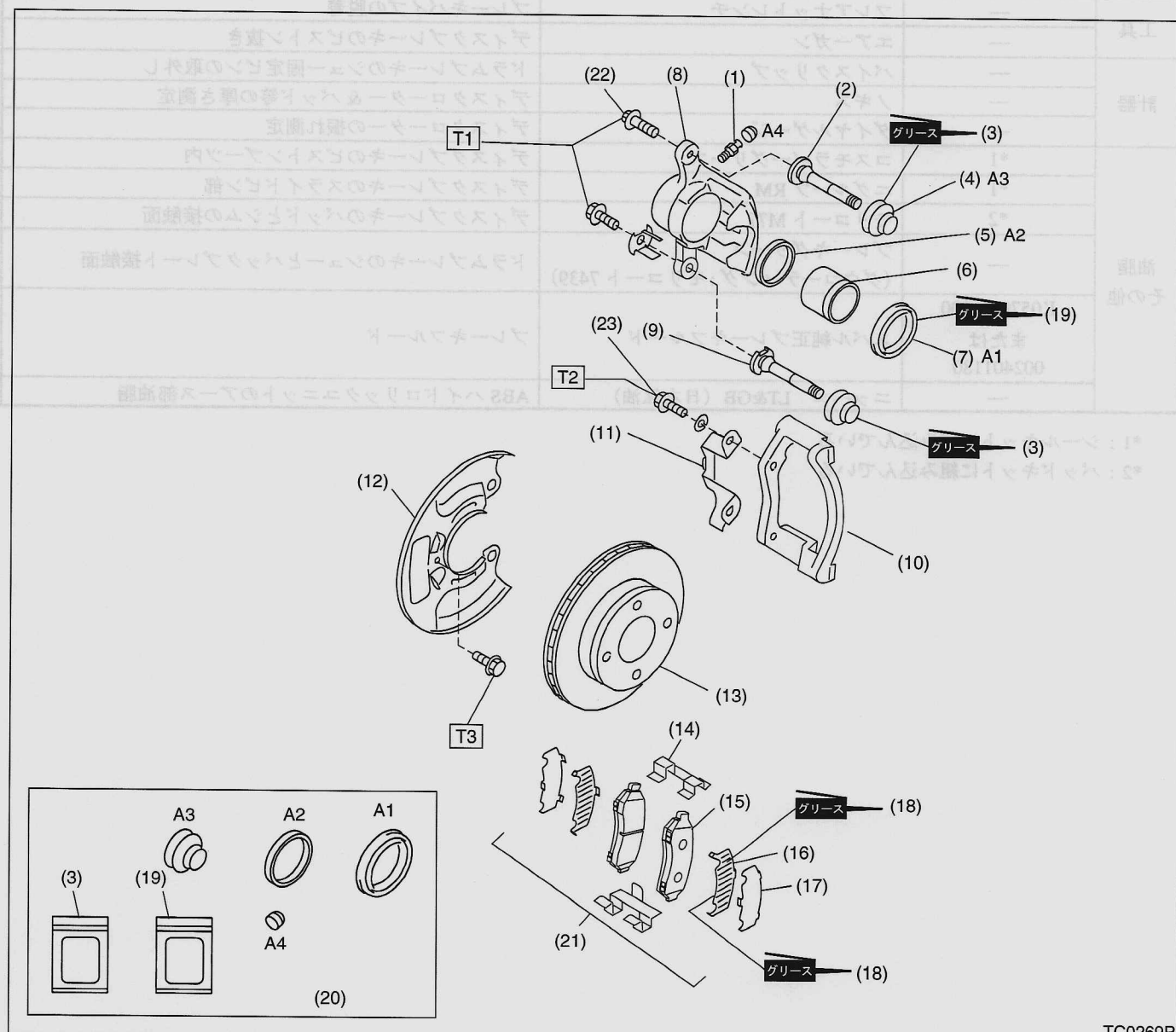
単位: mm

車種		ワゴン車	バン、トラック (赤帽車を除く)	赤帽車
フロントブレーキ	型式	13 インチ ベンチレーテッドディスク	12 インチ ベンチレーテッドディスク	←
	ディスク有効径	191	176	←
	シリンダー内径	51.1	51.1	←
	パッド寸法 長さ×幅×厚さ	99×41.5×9.0	95×35.5×9.0	←
	ブレーキ調整方式	自動調整	←	←
リヤブレーキ	型式	リーディング トレーリング型ドラム	←	←
	ドラム有効径	200	←	←
	シリンダー内径	17.4	15.8	←
	ライニング寸法 長さ×幅×厚さ	191.9×30×4.5	←	←
	ブレーキ調整方式	自動調整	←	←
マスターシリンダー	型式	タンデム	←	←
	シリンダー内径	20.6	←	←
	リザーバタンク	セミモイスターシール式	←	←
ブレーキブースター	型式	真空倍力式	←	←
	有効径	205	←	←
パーキングブレーキ	型式	機械式後 2 輪制動	←	機械式後 2 輪制動 (収納式レバー)
後輪液圧制御方式		プロポーションングバルブ	←	←
ブレーキ液		スバル純正ブレーキ フルード	←	←

B: 構成部品

具工費率 : C

1. 12 インチフロントディスクブレーキ



TC0269P

- | | | |
|------------------------|-------------------|----------------|
| (1) ブリーダースクリュー | (11) プロテクター | (21) パッドキット |
| (2) スライドピン A | (12) ディスクカバー | (22) スライドピンボルト |
| (3) (ニグリーブ RM) | (13) ディスクローター | (23) 固定ボルト |
| (4) ピンブーツ | (14) パッドクリップ | |
| (5) ピストンシール | (15) ブレーキパッド | |
| (6) ピストン | (16) シム A | |
| (7) ピストンブーツ | (17) シム B | |
| (8) キャリパーボディ | (18) (モリコート M77) | |
| (9) スライドピン B | (19) (コスモラバーグリース) | |
| (10) キャリパーブラケット (サポート) | (20) シールキット | |

締付けトルク

T1 : $22.1 \pm 2.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ $\{2.3 \pm 0.3 \text{ kgf}\cdot\text{m}\}$

T2 : $80 \pm 10 \text{ N}\cdot\text{m}$ $\{8.0 \pm 1.0 \text{ kgf}\cdot\text{m}\}$

T3 : $14 \pm 4 \text{ N}\cdot\text{m}$ $\{1.4 \pm 0.4 \text{ kgf}\cdot\text{m}\}$

ブレーキ

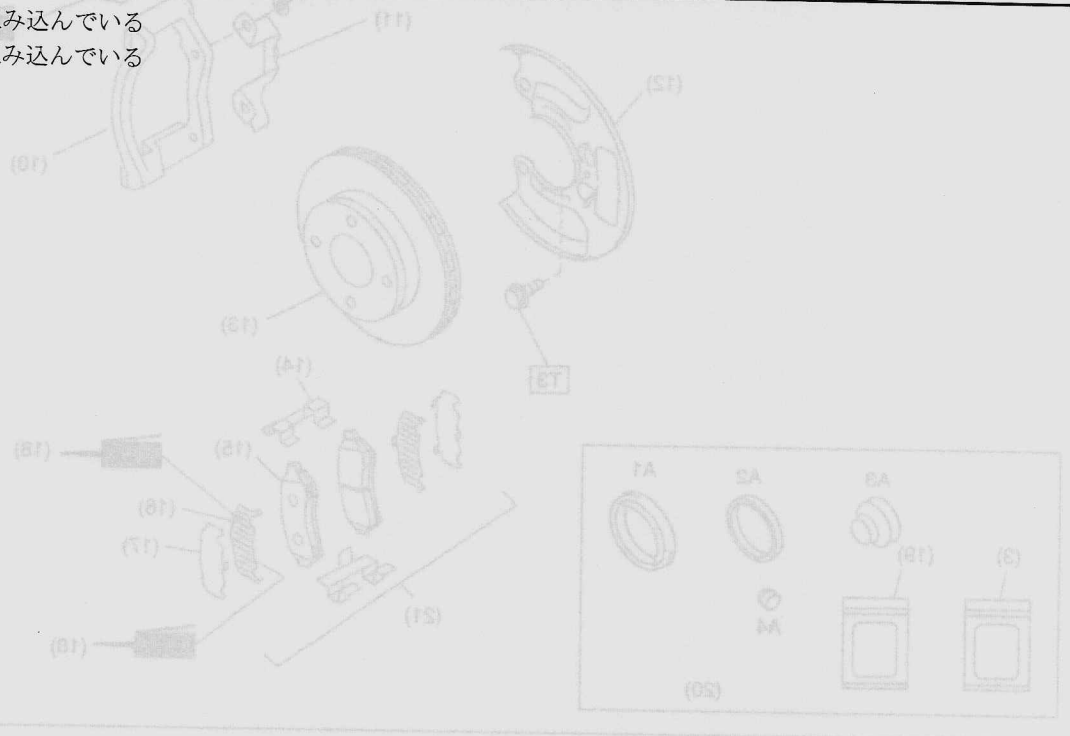
C: 準備工具

品番表

	品番	名称	用途
工具	—	フレアナットレンチ	ブレーキパイプの脱着
	—	エアガン	ディスクブレーキのピストン抜き
計器	—	バイスクリップ	ドラムブレーキのシュー固定ピンの取外し
	—	ノギス	ディスクローター & パッド等の厚さ測定
	—	ダイヤルゲージ	ディスクローターの振れ測定
油脂 その他	*1	コスモラバーグリース	ディスクブレーキのピストンブーツ内
	*1	ニグルーブ RM	ディスクブレーキのスライドピン部
	*2	モリコート M77	ディスクブレーキのパッドとシムの接触面
	—	ブレーキグリース (ダウコーティング: モリコート 7439)	ドラムブレーキのシューとバックプレート接触面
	K0579GA100 または 002401180	スバル純正ブレーキフルード	ブレーキフルード
	—	ニッペコ LT&GB (日本鉱油)	ABS ハイドロリックユニットのアース部油脂

*1: シールキットに組み込んでいる

*2: パッドキットに組み込んでいる

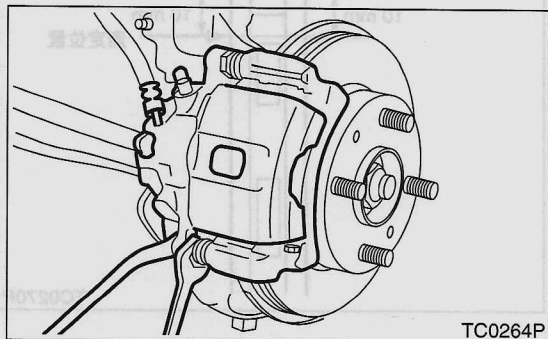


イマチヤハ (11)	アモロマ (11)	エリマシーケー (1)
イハヤシトマス (52)	ハヤシトマス (12)	アヤシトマス (2)
イハヤシトマス (53)	アモロマ (13)	(MR) アヤシトマス (3)
	アモロマ (14)	アヤシトマス (4)
	アモロマ (15)	アヤシトマス (5)
	アモロマ (16)	アヤシトマス (6)
	アモロマ (17)	アヤシトマス (7)
	アモロマ (18)	アヤシトマス (8)
	アモロマ (19)	アヤシトマス (9)
	アモロマ (20)	アヤシトマス (10)

2 フロントブレーキパッド (12 インチフロントブレーキ)

A: 取外し

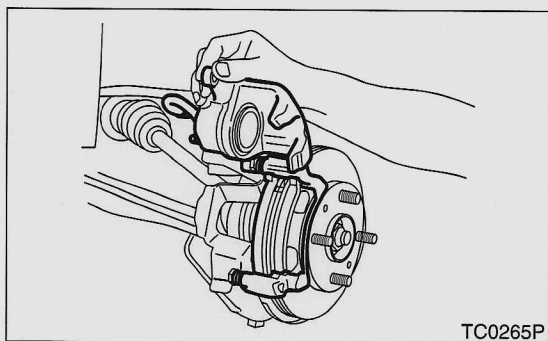
- 1) 車両をリフトアップする。
- 2) ホイールを取外す。
- 3) ディスクブレーキ下側のスライドピンボルトを外し、キャリパーボディを持ち上げ、支える。



注意:

スライドピンボルトを外すとき、スライドピンにスパナをかけ、スライドピンボルトにメガネレンチをかけ、緩めること。

- 4) サポートよりパッドを取外す。



B: 取付け

取外しの逆手順で行うこと。

指定グリースをパッドおよび各シムの間に薄く塗布する。

指定グリース:

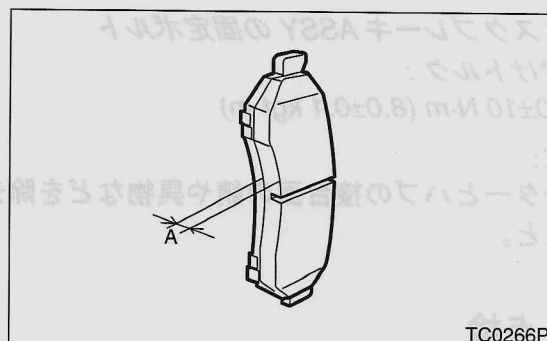
モリコート M77

スライドピンボルト締付けトルク:

22.1±2.5 N·m (2.3±0.3 kgf·m)

C: 点検

パッドの厚さ (A) を点検する。



パッドの厚さ:

標準値: 9.0 mm

限度値: 2.0 mm

参考:

- ブレーキパッドの交換時は、左右両輪のパッドをセットで交換する。
- ブレーキパッドの交換時は、パッドクリップも交換する。
- ウェアインジケータは、インナーディスクブレーキパッド (右輪) に取付けられている。パッドが限界まで摩耗した場合、ウェアインジケータの端部がディスクローターに当たり、ホイールの回転とともに、キーキー音が鳴る。その音が聞こえた場合、パッドを交換する。
- パッドにオイルまたはグリースが付着している場合は、交換する。

3 フロントディスクローター (12 インチフロントブレーキ)

A: 取外し

- 1) 車両をリフトアップする。
- 2) ホイールを取外す。
- 3) ディスクブレーキ ASSY の固定ボルトを取外し、ディスクブレーキ ASSY をワイヤーでストラットに吊るす。
- 4) ディスクローターを取外す。

B: 取付け

取外しの逆手順で行う。

ディスクブレーキ ASSY の固定ボルト

締付けトルク:

$80 \pm 10 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($8.0 \pm 0.1 \text{ kgf}\cdot\text{m}$)

注意:

ローターとハブの接合面の錆や異物などを除去すること。

C: 点検

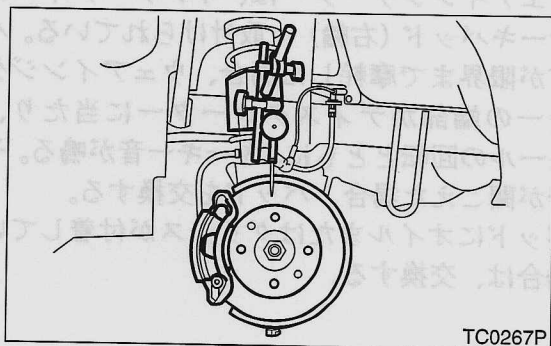
注意:

ディスクローターの振れを測定する際は、ホイールナット4個を締付け、ディスクローターを固定すること。

1) ディスクローターにダイヤルゲージをセットし、ディスクローターを回して、振れを測定する。

注意:

ダイヤルゲージのセット位置は、ローターの外周から 10 mm の位置で行うこと。



TC0267P

ディスクローターの振れ限度:

0.075 mm

2) ディスクローターの厚さを測定する。

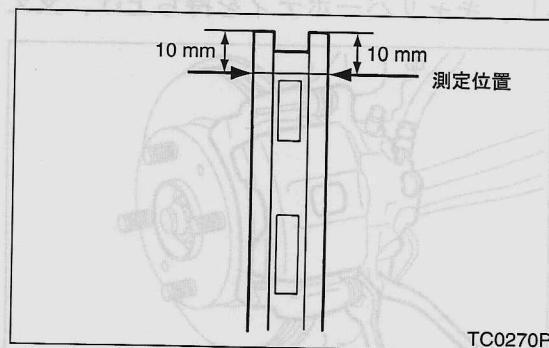
注意:

ローター外周より 10 mm の位置で測定すること。

ディスクローターの厚さ:

基準値: 18 mm

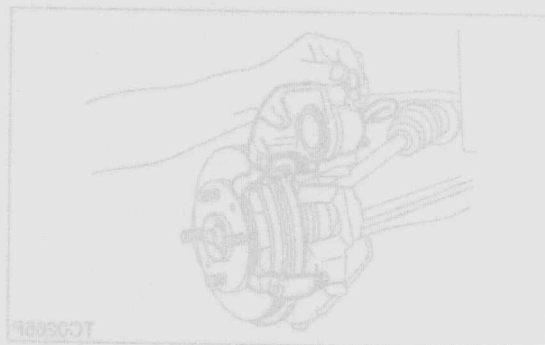
使用限度: 16 mm



TC0270P

参考:

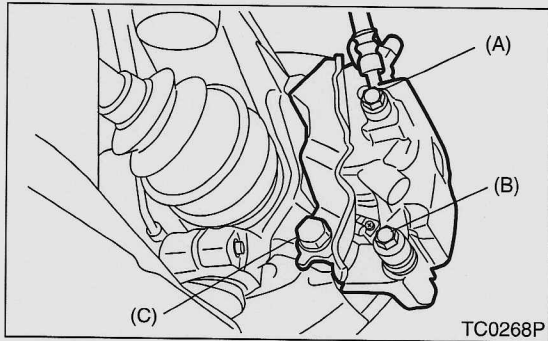
- ディスクローターは、ディスクブレーキ ASSY を外して、ハブから取外す。
- ディスクローターが、ハブから取外しにくい場合は、ローターのねじ部に 8 mm ボルトをねじ込み、ローターを取外す。



4 ディスクブレーキ ASSY (12 インチフロントブレーキ)

A: 取外し

- 1) 車両をリフトアップする。
- 2) ホイールを取外す。
- 3) ユニオンボルトを外し、ブレーキホースをキャリパーボディから切離す。



- (A) ユニオンボルト
(B) スライドピンボルト
(C) 固定ボルト

注意:

ブレーキフルードがボディ等に付着しないよう注意し、付着した場合は水で流し、完全に拭取ること。

- 4) ディスクブレーキ下側のスライドピンボルトを外し、キャリパーを持上げ、キャリパーボディを車体内側へスライドさせ、サポートから取外す。

B: 取付け

- 1) サポートに上側のスライドピン（キャリパーボディ）を挿入する。
- 2) キャリパーボディを下げ、スライドピンボルトを締付ける。

締付けトルク:

$22.1 \pm 2.5 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($2.25 \pm 0.25 \text{ kgf}\cdot\text{m}$)

- 3) キャリパーボディに新品のガスケットを使用し、ブレーキホースをユニオンボルトで取付ける。

締付けトルク:

$18 \pm 3 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($1.8 \pm 0.3 \text{ kgf}\cdot\text{m}$)

注意:

スライドピンボルト締付けの際は、スライドピンにスパナをかけ、ボルトにメガネレンチをかけて締付けること。

- 4) エア抜きを行う。

C: 分解

- 1) キャリパーボディを取外す。
- 2) ブレーキホース取付け穴から徐々に圧縮空気を送り込み、ピストンを抜取る。

注意:

キャリパーボディに木片をはさみ、ピストンの飛び出しを防止しながら作業すること。

- 3) キャリパーボディのシリンダー内よりピストンピンブーツおよびピストンシールを取外す。

注意:

シリンダーおよびピストンを傷付けないよう注意すること。

- 4) 下側のスライドピンをサポートから取外す。
- 5) ピンブーツ（2 か所）を取外す。

D: 組立

- 1) キャリパーボディおよびピストンをブレーキクリーナーで洗浄する。
- 2) ピストンシールにブレーキフルードを塗布し、ピストンシールをキャリパーボディの溝に取付ける。
- 3) シリンダー内面およびピストン外周全体にブレーキフルードを塗布する。
- 4) ピストンブーツに指定グリースを塗布する。

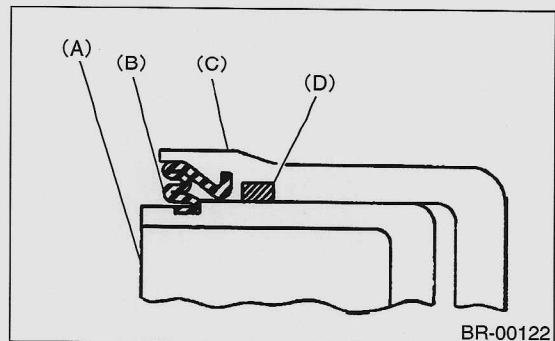
指定グリース:

コスモラバーグリース

- 5) シリンダー先端の溝にピストンブーツを取付ける。
- 6) ピストンをシリンダーに挿入する。
- 7) ピストンブーツをピストン溝に取付ける。

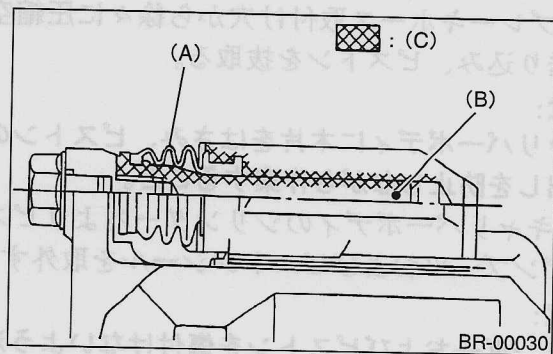
注意:

ピストンは無理に押し込まないこと。



- (A) ピストン
(B) ピストンブーツ
(C) キャリパーボディ
(D) ピストンシール

8) 指定グリースをスライドピン外周、シリンダー内面およびブーツ溝に塗布する。(2 か所)



- (A) ピンブーツ
(B) スライドピン
(C) グリース

指定グリース：

ニグルーブ *RM*

- 9) ピンブーツをサポートに挿入する。(2 か所)
10) 下側のスライドピンをサポートに挿入する。
(3-7 の「ブレーキ、ディスクブレーキ ASSY (12
インチフロントブレーキ)、取付け」を参照のこと。)

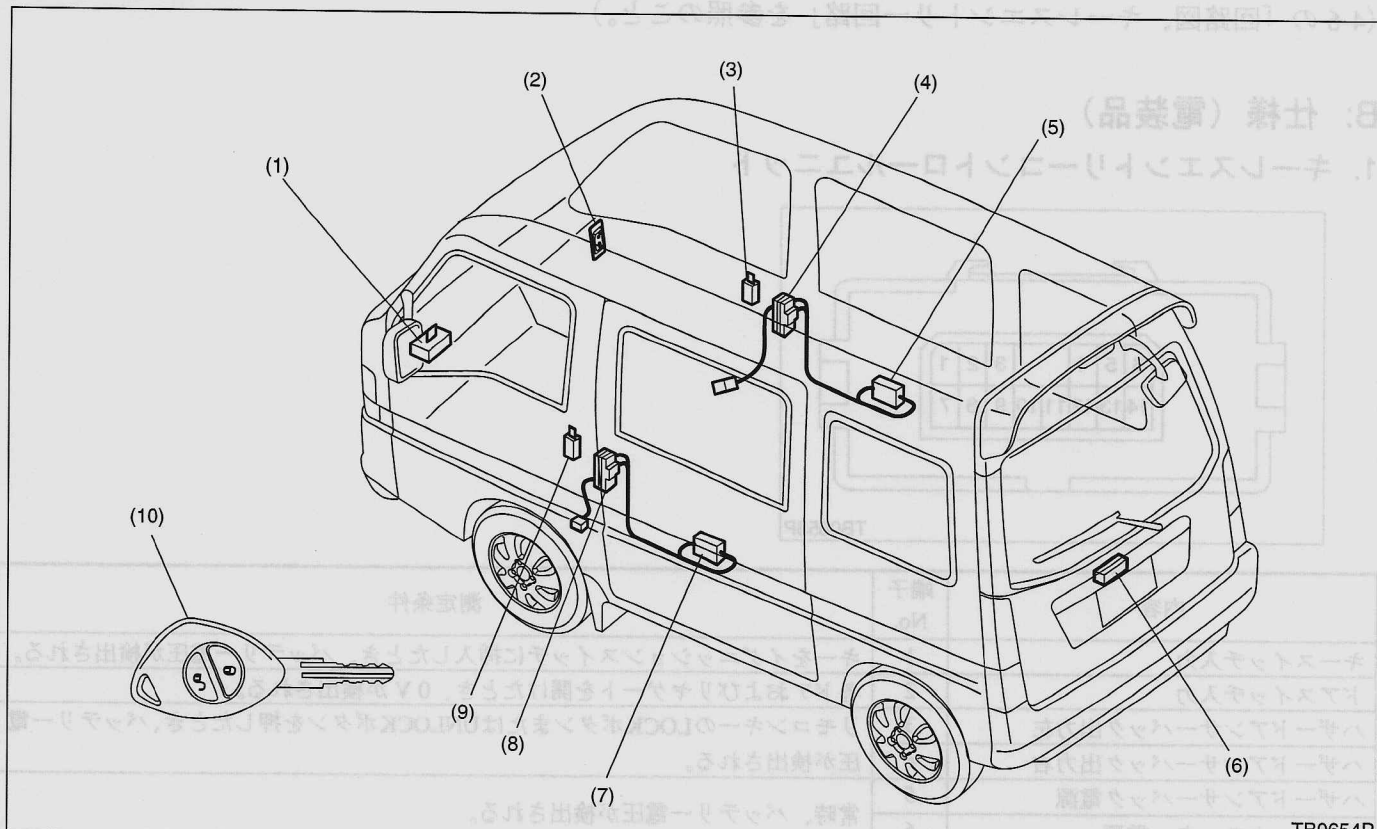
E: 点検

- 1) 不具合のある部分を修理または交換する。
- 2) キャリパーボディおよびピストンに不均等な摩耗、損傷または錆がないか点検する。
- 3) ゴム部品の損傷または劣化がないか点検する。

3-2 ドアロックシステム

1 概要

A: 構成部品



TB0654P

- | | | |
|--|------------------------------|-----------------------------|
| (1) キーレスエントリーコントロール
ユニット (受信アンテナ内蔵) | (5) スライドドアロックアクチュエー
ター RH | (8) スライドドアコンタクト LH |
| (2) ドアロックスイッチ | (6) リヤゲートドアロックアクチュ
エーター | (9) キャブドアロックアクチュエー
ター LH |
| (3) キャブドアロックアクチュエー
ター RH | (7) スライドドアロックアクチュエー
ター LH | (10) 送信機 |
| (4) スライドドアコンタクト RH | | |

2 キーレスエントリーシステム

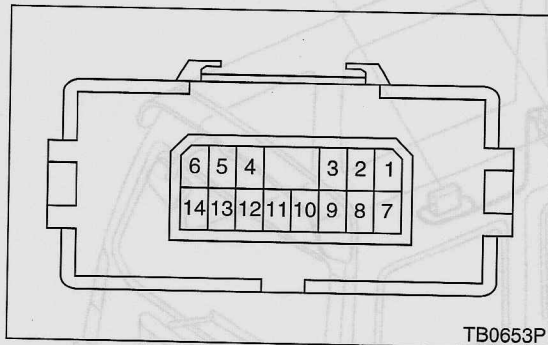
A: 配線図

1. キーレスエントリー

(4-6の「回路図、キーレスエントリー回路」を参照のこと。)

B: 仕様 (電装品)

1. キーレスエントリーコントロールユニット



内容		端子 No.	測定条件
キースイッチ入力		1	キーをイグニッションスイッチに挿入したとき、バッテリー電圧が検出される。
ドアスイッチ入力		2	各ドアおよびリヤゲートを開けたとき、0Vが検出される。
ハザードアンサーバック出力左		3	リモコンキーのLOCKボタンまたはUNLOCKボタンを押したとき、バッテリー電圧が検出される。
ハザードアンサーバック出力右		4	
ハザードアンサーバック電源		5	常時、バッテリー電圧が検出される。
ドアロックモーター電源		6	
制御電源		7	常時、バッテリー電圧が検出される。
ルームランプ出力		8	ルームランプスイッチがDOOR位置で各ドアおよびリヤゲートを開けたとき、0Vが検出される。
ドアロック スイッチ	ロックスイッチ入力	9	ドアロックスイッチをロック側に動かしたとき、0Vが検出される。
	アンロックスイッチ入力	10	ドアロックスイッチをアンロック側に動かしたとき、0Vが検出される。
アンロック出力		11	リモコンキーのUNLOCKボタンを押したとき、バッテリー電圧が検出される。
ロック出力		12	リモコンキーのLOCKボタンを押したとき、バッテリー電圧が検出される。
アース		13	常時、0Vが検出される。
—		14	—

ドアロックシステム

C: 点検

1. 症状チャート

症状	修理手順	参照
キーレスエントリーシステムの機能が一切作動しない。	1. リモコンキーバッテリーを点検する。	(3-12の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、リモコンキーバッテリー&機能点検」を参照のこと。)
	2. ヒューズを点検する。	(3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ヒューズ点検」を参照のこと。)
	3. キーレスエントリーコントロールユニットの電源およびアースを点検する。	(3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キーレスエントリーコントロールユニットの電源とアース回路の点検」を参照のこと。)
	4. キー有無スイッチを点検する。	(3-15の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キー有無スイッチ点検」を参照のこと。)
	5. ドアスイッチを点検する。	(3-14の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ドアスイッチ点検」を参照のこと。)
リモコンキーが登録できない。	1. リモコンキーバッテリーを点検する。	(3-12の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、リモコンキーバッテリー&機能点検」を参照のこと。)
	2. ヒューズを点検する。	(3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ヒューズ点検」を参照のこと。)
	3. キーレスエントリーコントロールユニットの電源およびアースを点検する。	(3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キーレスエントリーコントロールユニットの電源とアース回路の点検」を参照のこと。)
	4. キー有無スイッチを点検する。	(3-15の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キー有無スイッチ点検」を参照のこと。)
	5. ドアロックスイッチ信号を点検する。	(3-17の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ドアロックスイッチの点検」を参照のこと。)
	6. ドアスイッチを点検する。	(3-14の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ドアスイッチ点検」を参照のこと。)
ドアロックまたはロック解除が作動しない。 ドアロックスイッチを使用してもドアロックコントロールシステムが作動しない場合、キーレスエントリー回路のハーネスコネクタを点検する。(4-6の「回路図、キーレスエントリー回路」を参照のこと。)	1. リモコンキーバッテリーを点検する。	(3-12の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、リモコンキーバッテリー&機能点検」を参照のこと。)
	2. キーレスエントリーコントロールユニットを点検する。	(3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キーレスエントリーコントロールユニットの電源とアース回路の点検」を参照のこと。)
	3. キー有無スイッチを点検する。	(3-15の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キー有無スイッチ点検」を参照のこと。)
	4. ドアスイッチを点検する。	(3-14の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、ドアスイッチ点検」を参照のこと。)

ドアロックシステム

症状	修理手順	参照
ハザードランプが作動しない。	ハザードランプの作動を点検する。	(3-16の「ドアロックシステム、キーレスエントリースystem、点検、ハザードランプの作動点検」を参照のこと。)
ルームランプが作動しない。	ルームランプの作動を点検する。	(3-16の「ドアロックシステム、キーレスエントリースystem、点検、ルームランプの作動点検」を参照のこと。)

2. リモコンキーバッテリー&機能点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 リモコンキーバッテリーの点検 1) リモコンキーからバッテリーを取外す。(3-18の「ドアロックシステム、リモコンキー、取外し」を参照のこと。) 2) バッテリー電圧を点検する。(3-18の「ドアロックシステム、リモコンキー、点検」を参照のこと。) 2 リモコンキーの点検 他車の正常に作動するリモコンキーをこれから点検を行う車両に登録する。(3-19の「ドアロックシステム、リモコンキー、リモコンキーの登録、一度でもリモコンキーを登録したことがあるキーレスエントリーコントロールユニットを使う場合」を参照のこと。) 1) 点検を行う車両のドアおよびリヤゲートを全て閉じる。 2) リモコンキーを操作して車両のドアおよびリヤゲートをロック、アンロックさせる。	電圧は2.5V以上か？ 点検を行う車両は正常にロック、アンロックできるか？	2へ進む。 3へ進む。	リモコンキーバッテリーを交換する。(3-18の「ドアロックシステム、リモコンキー」を参照のこと。) 車両側の不具合のため、引続きキーレスエントリースystemの診断を行う。
3 リモコンキーの点検 登録したリモコンキーを点検する。 1) キーレスシステムが正常に作動する車両のドアおよびリヤゲートを全て閉じる。 2) リモコンキーを操作して車両のドアおよびリヤゲートをロック、アンロックさせる。	車両は正常にロック、アンロックできるか？	リモコンキーは正常。	リモコンキーを交換する。(3-19の「ドアロックシステム、リモコンキー、リモコンキーの登録、一度でもリモコンキーを登録したことがあるキーレスエントリーコントロールユニットを使う場合」を参照のこと。)

注意:

他車から点検を行う車両に登録したリモコンキーおよび点検のためにリモコンキーを登録した車両は必ず点検前の状態に戻す(リモコンキーを登録し直す)こと。

ドアロックシステム

3. ヒューズ点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ヒューズの点検 ヒューズ SBF-1、SBF-5（メインヒューズボックス内）を取外し、目視点検する。	ヒューズは切れているか？	新品のヒューズに交換する。	電源およびアース回路を点検する。 (3-13の「ドアロックシステム、キーレスエントリーシステム、点検、キーレスエントリーコントロールユニットの電源とアース回路の点検」を参照のこと。)

4. キーレスエントリーコントロールユニットの電源とアース回路の点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 キーレスエントリーコントロールユニットの電源点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタを切離す。 2) ハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 7 (+) — ボディアース (-) : (F13) No. 6 (+) — ボディアース (-) :	電圧は 10 V 以上か？	2へ進む。	キーレスエントリーコントロールユニットとヒューズ間のハーネスが断線およびショートしていないか点検する。
2 キーレスエントリーコントロールユニットのアース回路点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタを切離す。 2) ハーネスコネクタ端子とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 13 — ボディアース :	抵抗は 10 Ω 未満か？	電源およびアース回路は正常。	ハーネスを修理する。

5. ドアスイッチ点検

対応スーエコ 8

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ドアスイッチ回路の点検 キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 2 (+) — ボディアース (-) :	各ドアまたはリヤゲートを開けたとき、電圧は 0 V か？	2 へ進む。	3 へ進む。
2 ドアスイッチ回路の点検 キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 2 (+) — ボディアース (-) :	各ドアまたはリヤゲートを閉めたとき、電圧は 10 V 以上か？	ドアスイッチは正常。	3 へ進む。
3 ドアスイッチの点検 1) ドアスイッチのハーネスコネクタを切離す。 2) ドアスイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F34) フロント RH ドアスイッチ : No. 1 — No. 2 : (F35) フロント LH ドアスイッチ : (F38) RH スライドドアスイッチ : (F36) LH スライドドアスイッチ : No. 1 — No. 2 : リヤゲートラッチスイッチ : (D397) No. 1 — No. 2 :	ドアスイッチを押したとき、抵抗は 1 MΩ 以上か？	4 へ進む。	ドアスイッチを交換する。
4 ドアスイッチの点検 ドアスイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F34) フロント RH ドアスイッチ : No. 1 — No. 2 : (F35) フロント LH ドアスイッチ : (F38) RH スライドドアスイッチ : (F36) LH スライドドアスイッチ : No. 1 — No. 2 : リヤゲートラッチスイッチ : (D397) No. 1 — No. 2 :	ドアスイッチを離したとき、抵抗は 1 Ω 未満か？	キーレスエントリーコントロールユニットとドアスイッチ間のハーネスが断線およびショートしていないか点検する。	ドアスイッチを交換する。

ドアロックシステム

6. キー有無スイッチ点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ヒューズの点検 ヒューズ No. 6 (ヒューズボックス内) を取外し、目視点検する。	ヒューズは切れているか？	新品のヒューズに交換する。	2へ進む。
2 キー有無スイッチ回路の点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタを切離す。 2) イグニッションスイッチにキーを差込む。(LOCK位置) 3) ハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 1 (+) — ボディアース (-) :	電圧は 10 V 以上か？	3へ進む。	4へ進む。
3 キー有無スイッチ回路の点検 1) キーをイグニッションスイッチから抜く。 2) ハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 1 (+) — ボディアース (-) :	電圧は 0 V か？	キー有無スイッチは正常。	4へ進む。
4 キー有無スイッチの点検 1) キー有無スイッチのハーネスコネクタを切離す。 2) イグニッションスイッチにキーを差込む。(LOCK位置) 3) キー有無スイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F14) No. 2 — No. 1 :	抵抗は 1 Ω 未満か？	5へ進む。	キー有無スイッチを交換する。
5 キー有無スイッチの点検 1) キーをイグニッションスイッチから抜く。 2) キー有無スイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F14) No. 2 — No. 1 :	抵抗は 1 MΩ 以上か？	次の点検を行う。 ・キー有無スイッチとヒューズ間のハーネスが断線およびショートしていないか。 ・キーレスエントリーコントロールユニットとキー有無スイッチ間のハーネスが断線していないか。	キー有無スイッチを交換する。

7. ルームランプの作動点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ルームランプの作動点検 ルームランプスイッチが ON のとき、ルームランプが点灯するか確認する。	ルームランプは点灯するか？	2 へ進む。	ルームランプ回路を点検する。
2 ルームランプとキーレスエントリーコントロールユニット間のハーネス点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタおよびルームランプのハーネスコネクタを切離す。 2) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタ端子とルームランプのハーネスコネクタ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 8 — (R376) No. 2 :	抵抗は 10 Ω 未満か？	ルームランプ作動回路は正常。	キーレスエントリーコントロールユニットとルームランプ間のハーネスが断線またはショートしていないか点検する。

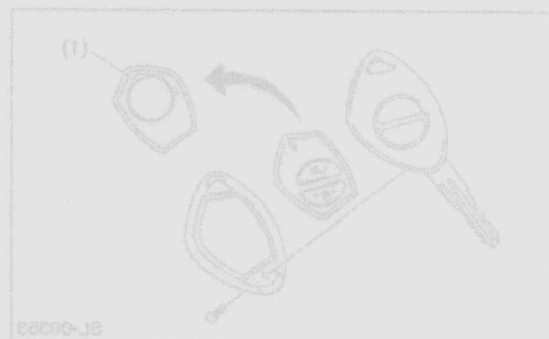
8. ハザードランプの作動点検

ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ハザードランプの作動点検 ハザードスイッチを ON にしたとき、ハザードランプが点滅するか確認する。	ハザードランプは点滅するか？	2 へ進む。	ハザードランプ回路を点検する。
2 ハザードランプの電源点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタを切離す。 2) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 5 (+) — ボディアース (-) :	電圧は 10 V 以上か？	3 へ進む。	キーレスエントリーコントロールユニットとヒューズ間のハーネスが断線またはショートしていないか点検する。
3 ハザードランプへの出力点検 1) キーをイグニッションスイッチから抜く。 2) すべてのドアおよびリヤゲートを閉じる。 3) リモコンキーの LOCK または UNLOCK が押されたとき、キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタ端子とボディアース間の電圧を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 3, No. 4 (+) — ボディアース (-) :	電圧は 10 V 以上か？	キーレスエントリーコントロールユニットとターンシグナルランプ間のハーネスが断線していないか点検する。	キーレスエントリーコントロールユニットを交換する。(3-18 の「ドアロックシステム、キーレスエントリーコントロールユニット」を参照のこと。)

ドアロックシステム

9. ドアロックスイッチの点検

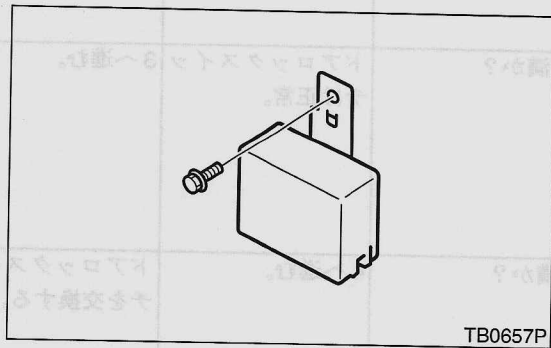
ステップ	チェック	はい	いいえ
1 ドアロックスイッチ回路の点検 1) キーレスエントリーコントロールユニットのハーネスコネクタを切離す。 2) ドアロックスイッチをロック側に動かしたとき、ハーネスコネクタ端子とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 9 — ボディアース :	抵抗は $10\ \Omega$ 未満か？	2 へ進む。	3 へ進む。
2 ドアロックスイッチ回路の点検 ドアロックスイッチをアンロック側に動かしたとき、ハーネスコネクタ端子とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (F13) No. 10 — ボディアース :	抵抗は $10\ \Omega$ 未満か？	ドアロックスイッチは正常。	3 へ進む。
3 ドアロックスイッチの点検 1) ドアロックスイッチのハーネスコネクタを切離す。 2) ドアロックスイッチをロック側に動かしたとき、ドアロックスイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 ドアロックスイッチ本体 No. 4 — No. 1 :	抵抗は $1\ \Omega$ 未満か？	4 へ進む。	ドアロックスイッチを交換する。
4 ドアロックスイッチの点検 ドアロックスイッチをアンロック側に動かしたとき、ドアロックスイッチ端子間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 ドアロックスイッチ本体 No. 3 — No. 1 :	抵抗は $1\ \Omega$ 未満か？	キーレスエントリーコントロールユニットとドアロックスイッチ間のハーネスが断線またはショートしていないか点検する。	ドアロックスイッチを交換する。



3 キーレスエントリーコントロールユニット

A: 取外し

- 1) バッテリーのマイナス端子を外す。
- 2) キーレスエントリーコントロールユニットのコネクターを切離す。
- 3) 取付けボルトを外し、キーレスコントロールユニットを取外す。



B: 取付け

取外しの逆手順で行う。

4 リモコンキー

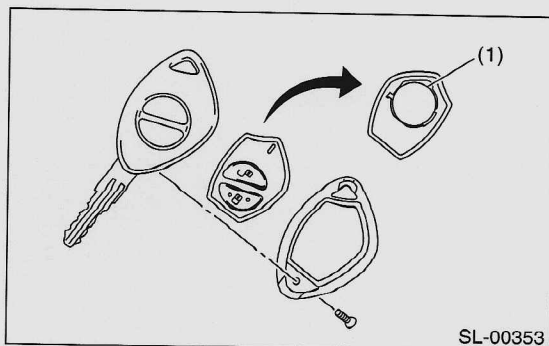
A: 取外し

1. リモコンキーバッテリー

リモコンキーのスクリューを外し、リモコンキーバッテリー (1) を取外す。

参考:

- 静電気によりリモコンキーのプリント回路基板が損傷するのを防ぐため、リモコンキーを分解する前に建物の金属部分を手で触れ、身体や衣類に帯電している静電気を放電する。
- バッテリーの交換方法については取扱説明書を参照のこと。



B: 取付け

1. リモコンキーバッテリー

取外しの逆手順で行う。

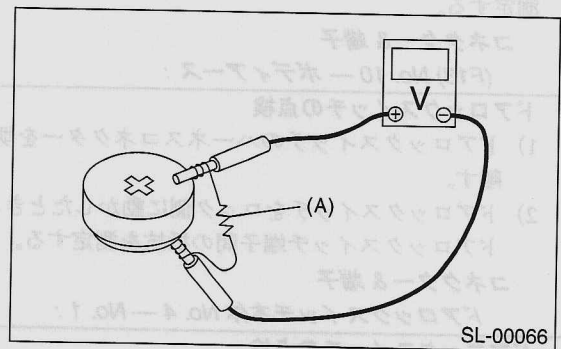
C: 点検

1. リモコンキーバッテリー

リモコンキーバッテリーのプラス端子とマイナス端子間の電圧を測定する。

参考:

測定中はバッテリーが放電する。測定は5秒以内に完了する。



(A) 抵抗 47 Ω

テスターの接続		標準
(+)	(-)	
バッテリー プラス端子	バッテリー マイナス端子	2.5 ~ 3.0 V

不具合がある場合、バッテリーを交換する。(CR1620 を使用する。)

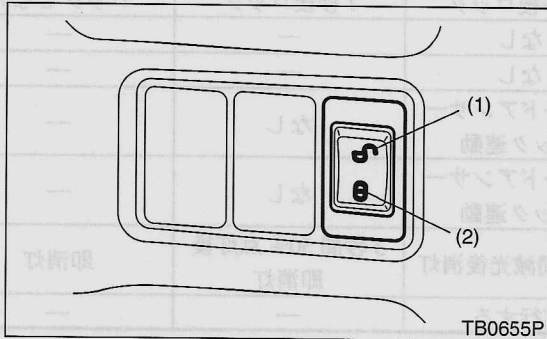
D: リモコンキーの登録

参考:

- 車両1台につき3個までリモコンキーを登録できる。
- リモコンキーを交換または追加する場合、新しいリモコンキーを含む、全てのリモコンキーを再登録する必要がある。

1. 一度でもリモコンキーを登録したことがあるキーレスエントリーコントロールユニットを使う場合

- 1) リモコンキーを持ち、運転席に座り、ドアおよびリヤゲートがすべて閉じていることを確認する。
- 2) リモコンキーをイグニッションスイッチ(キーシリンダー)に「差込み → 抜く」の操作を3回行う。
- 3) ドアロックスイッチで「LOCK → UNLOCK」操作を2回行う。



- (1) UNLOCK
- (2) LOCK

- 4) 3) の操作後 10 秒以内に運転席ドアを 1 回開閉する。
- 5) ドアロックスイッチを UNLOCK 側に押したまま保持する。(このとき登録モードに移行し、登録済みの全リモコンキーの ID は消去される。)
- 6) ドアロックスイッチを UNLOCK 側に押したまま、リモコンキーのボタンを 2 回押す。(LOCK、UNLOCK いずれも可。)
- 7) 登録が正常に完了したとき、ドアロックアクチュエーターがロック → アンロック作動を行う。ロック → アンロック作動が行われない場合は再度 6) の作業を行う。

参考:

- リモコンキーのボタンを押すときは、1 回、2 回とゆっくり押し、2 回目は長押ししてドアロックアクチュエーターの作動を確認すること。
 - リモコンキーのボタンを 2 回以上押さないこと。
 - リモコンキーのボタンを連打しないこと。
- 8) 追加登録するリモコンキーがある場合は手順 6) の作業を繰り返す。

- 9) ドアロックスイッチの UNLOCK 側から手を離す。またはいずれかのドアを開けると登録は完了する。

参考:

- ドアロックスイッチを UNLOCK 側に押したままにしないと登録できない。
- リモコンキーを新たに追加登録する場合、すでに登録済みのリモコンキーも再登録する必要がある。

2. 新品のキーレスエントリーコントロールユニットを使う場合 (一度でもリモコンキーを登録したことがないキーレスエントリーコントロールユニット)

- 1) ルームランプスイッチの位置を「DOOR」にする。
- 2) リモコンキーを持ち、運転席に座り、ドアおよびリヤゲートがすべて閉じていることを確認する。
- 3) リモコンキーをイグニッションスイッチ(キーシリンダー)から「差込み → 抜く」の操作を 1 回だけ行う。(このときルームランプが約 0.5 秒毎に点滅を行う。)
- 4) リモコンキーのボタンを 2 回押す。(LOCK、UNLOCK いずれも可。)
- 5) 登録が正常に完了したとき、ドアロックアクチュエーターがロック → アンロック作動を行う。ロック → アンロック作動が行われない場合は再度 4) の作業を行う。

参考:

- リモコンキーのボタンを押すときは、1 回、2 回とゆっくり押し、2 回目は長押ししてドアロックアクチュエーターの作動を確認すること。
 - リモコンキーのボタンは 2 回以上押さないこと。
 - リモコンキーのボタンは連打しないこと。
- 6) 追加登録するリモコンキーがある場合は手順 4) の作業を繰り返す。
 - 7) リモコンキーをイグニッションスイッチ(キーシリンダー)に差込むと登録は完了する。(このときルームランプが消灯する。) 登録が完了しない場合、ルームランプは点滅を続ける。リモコンキーを抜くことにより登録可能になるので再度手順 4) の作業を行う。

5 機能設定（カスタマイズ）

A: 概要

カスタマイズ機能により以下の項目は設定を変更することができる。

- ・オートロックの有無・タイマー時間の選択
- ・ハザードアンサーバック機能有無の選択
- ・ルームランプアンサーバック機能有無・時間の選択
- ・ルームランプオフディレイ有無・時間の選択
- ・キー閉じ込み防止機能有無の選択

機能		モード1*	モード2	モード3	モード4
オートロック機能		30 秒後ロック	15 秒後ロック	7 秒後ロック	ロックしない
ハザードアンサーバック機能	LOCK 時	1 回点滅	なし	—	—
	UNLOCK 時	2 回点滅	なし	—	—
ルームランプアンサーバック機能	LOCK 時	即消灯	ハザードアンサーバック連動	なし	—
	UNLOCK 時	15 秒間点灯 + 5 秒間減光後消灯	ハザードアンサーバック連動	なし	—
ルームランプオフディレイ機能		3 秒間 50% 点灯 + 2.5 秒間減光後消灯	2.5 秒間減光後消灯	3 秒間 50% 点灯後即消灯	即消灯
キー閉じ込み防止機能		実行しない	実行する	—	—

*：工場出荷状態

B: 設定

1. カスタマイズモード移行操作

- 1) ルームランプスイッチの位置を「DOOR」にする。
- 2) リモコンキーを持ち、運転席に座り、ドアおよびリヤゲートが全て閉じていることを確認する。
- 3) リモコンキーをイグニッションスイッチに「差込み → 抜く」の操作を 10 秒間に 5 回以上行う。
- 4) 3) の操作後 10 秒以内に運転席ドアを 1 回開閉する。（このとき、カスタマイズモードに移行し、ハザードランプが 3 回点滅する。）

2. カスタマイズモード

次ページのフローチャートを参考にカスタマイズを行う。

3. カスタマイズモードの終了

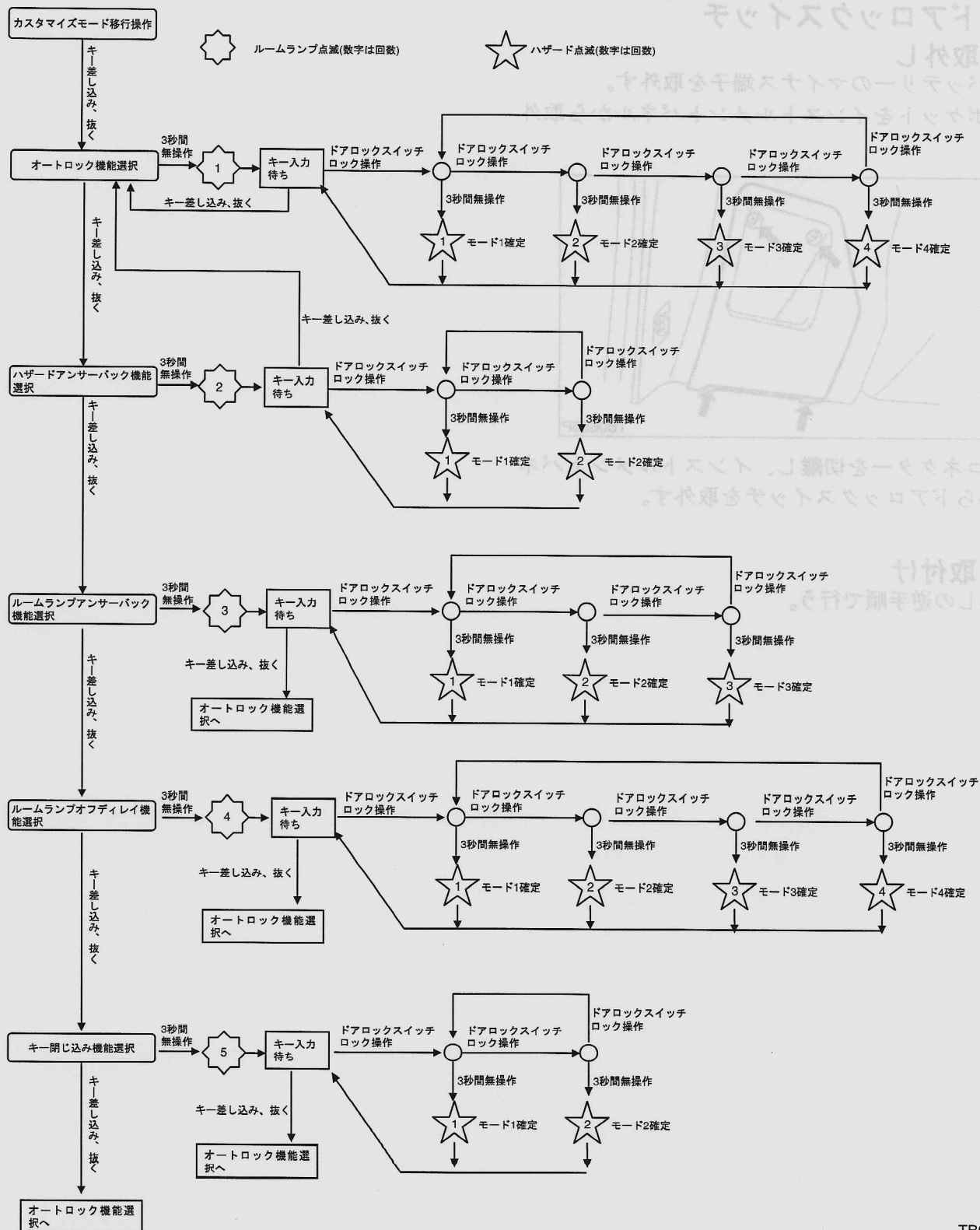
カスタマイズモードを終了させるには以下の 3 つの操作のうち一つを実行する。

- ・いずれかのドアを開ける。
- ・イグニッションキーをキーシリンダーに差込んで 3 秒以上待つ。
- ・何も操作せず 5 分以上待つ。

4. 設定状態の確認

カスタマイズ設定の状態を確認する。

ドアロックシステム

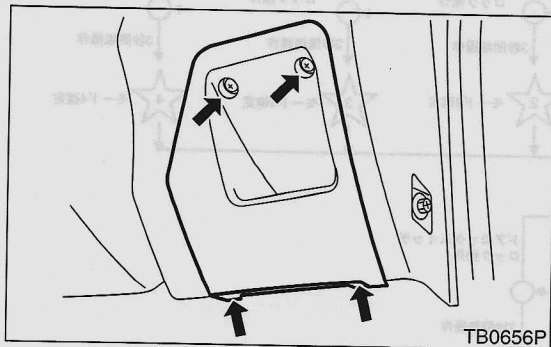


TB0659P

6 ドアロックスイッチ

A: 取外し

- 1) バッテリーのマイナス端子を取外す。
- 2) ポケットをインストルメントパネルから取外す。



- 3) コネクターを切離し、インストルメントパネルからドアロックスイッチを取外す。

B: 取付け

取外しの逆手順で行う。

3-3 エアバッグ

1 基本診断手順

A: 基本診断の方法

正常時は、IG SW ON 後、約 6 秒間エアバッグ警告灯が点灯した後消灯する。これをイニシャルチェックといい、ランプ切れの点検ができる。

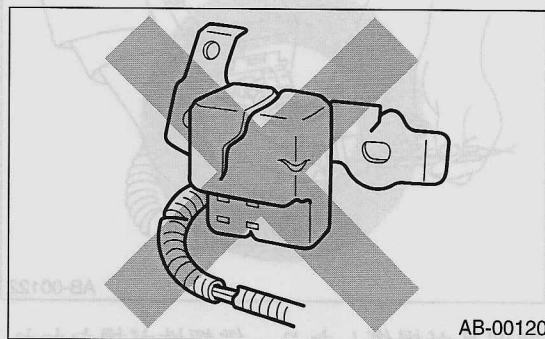
B: エアバッグ警告灯が点灯した場合

- 1) IG SW ON にし、エアバッグ警告灯の点灯状態を確認する。
- 2) 警告灯が IG SW ON 後約 6 秒以上点灯したまま、または、点灯しない、もしくは 30 秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い修理する。
- 3) 警告灯が IG SW ON 後約 6 秒点灯し、消灯した場合、現在は正常である。
- 4) この場合は自己診断機能のリードメモリーを実施し、過去の故障診断を行う。修理後、自己診断を実施し、異常がなければメモリークリアを行う。
- 5) ダイアグコードが表示された場合は、表示されたコードの手順に従い、修理または交換を行う。ダイアグコードコードが表示されない場合は、不具合現象に基づく点検に従い、修理または交換を行う。
- 6) IG SW ON にし、エアバッグ警告灯の点灯状態を確認する。警告灯が IG SW ON 後約 6 秒以上点灯、または点灯しない、もしくは 30 秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い、修理する。警告灯が IG SW ON 後約 6 秒点灯し、消灯した場合は、メモリークリアを行う。

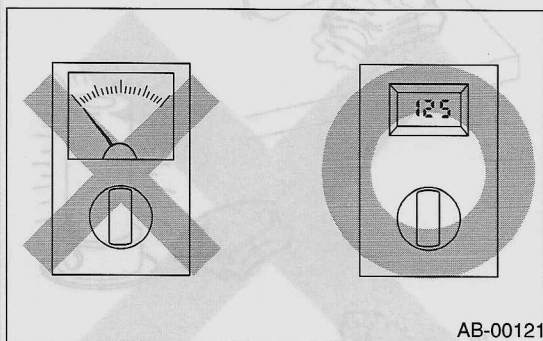
2 概要

A: 注意

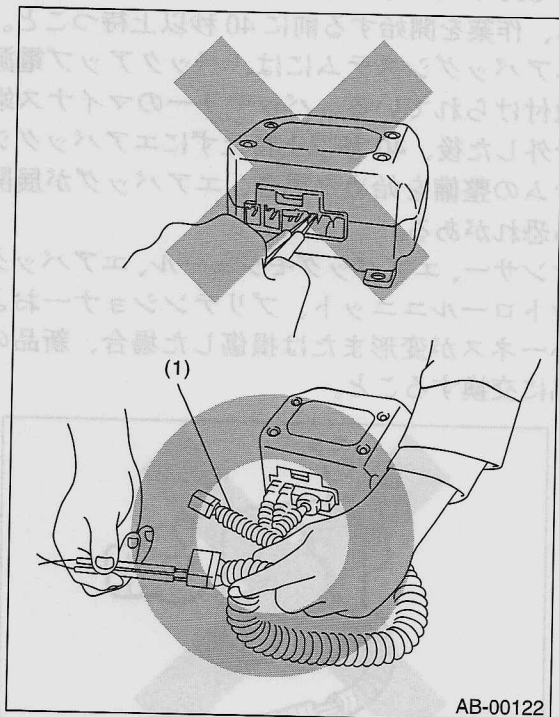
- 車両を整備するとき、イグニッションスイッチを OFF にして、バッテリーのマイナス端子を外し、作業を開始する前に 40 秒以上待つこと。
- エアバッグシステムには、バックアップ電源が取付けられている。バッテリーのマイナス端子を外した後、40 秒以上待たずにエアバッグシステムの整備を始めた場合、エアバッグが展開する恐れがある。
- センサー、エアバッグモジュール、エアバッグコントロールユニット、プリテンショナーおよびハーネスが変形または損傷した場合、新品の部品に交換すること。



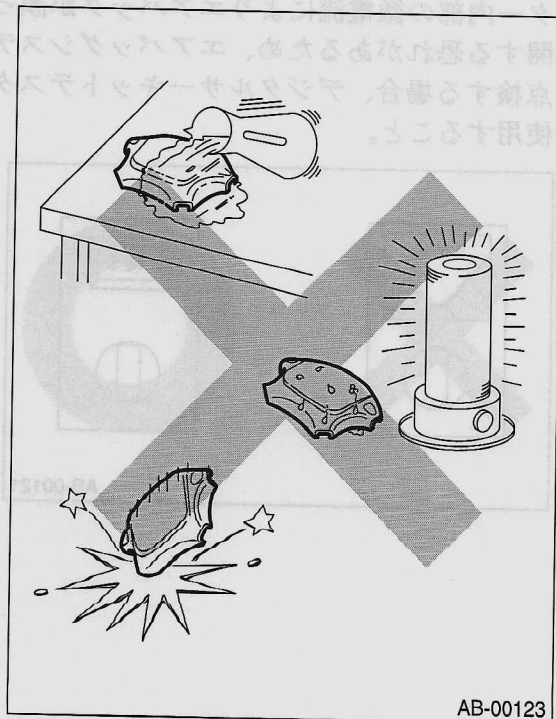
- エアバッグシステムとプリテンショナーを他の車両に流用しないこと。部品交換時は、必ず新品に交換すること。
- アナログサーキットテスターを使用すると、テスター内部の微電流によりエアバッグが誤って展開する恐れがあるため、エアバッグシステムを点検する場合、デジタルサーキットテスターを使用すること。



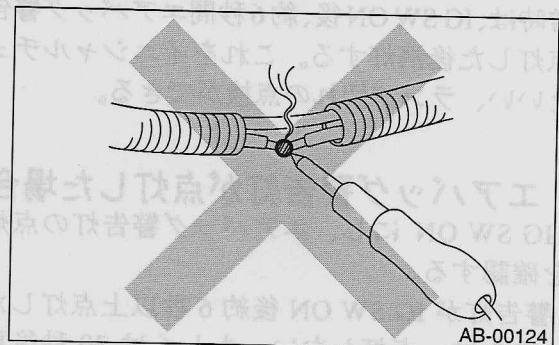
- 点検するときは、テストハーネス (1) を使用すること。コネクタ端子が傷つくと誤動作の原因になるためテスター棒をエアバッグのコネクタ端子に直接当てないこと。



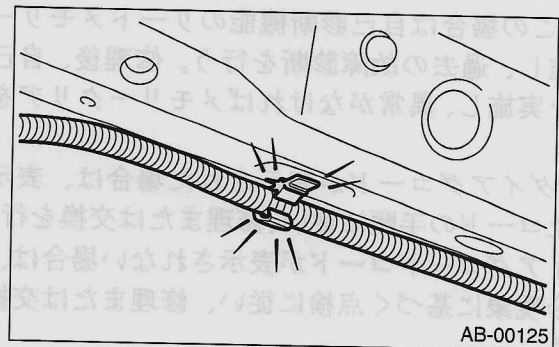
- 内部部品が損傷したり、信頼性が損なわれる恐れがあるため、エアバッグモジュールを落下させたり、93°C (199°F) 以上の高温環境下で保管したり、水、オイルまたはグリースを付着させないこと。



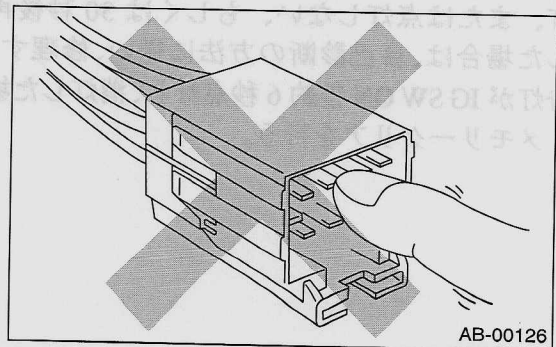
- エアバッグシステムのワイヤリングハーネスに損傷、断線またはさびが発見された場合、修理にはんだを使用しないこと。不具合のあるハーネスは、純正の新品に交換すること。



- ワイヤリングハーネスは、規定のクリップを使用して確実に取付け、他の部品との干渉またはもつれを防ぐこと。



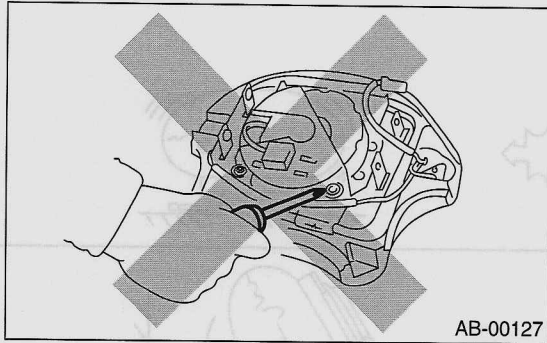
- 水またはオイルをコネクタ端子に付着させないこと。また、コネクタ端子に触れないこと。



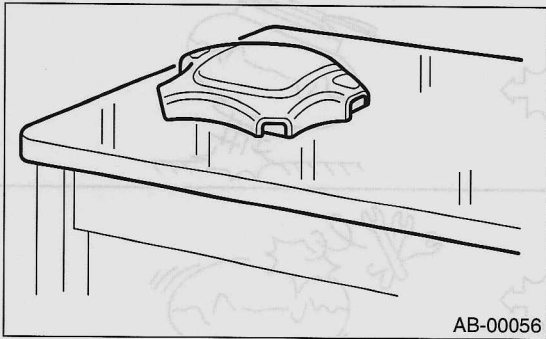
- 運転席エアバッグモジュール、助手席エアバッグモジュールまたはプリテンショナーを分解しないこと。

エアバッグ

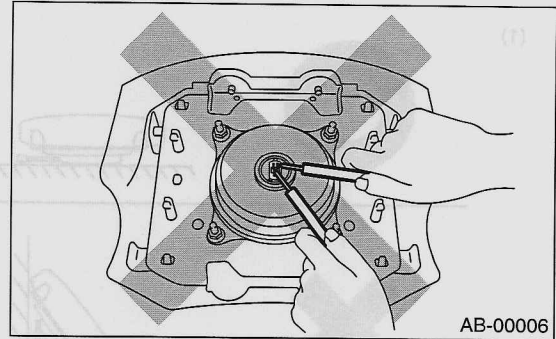
- 一度展開したエアバッグモジュールは再使用しないこと。



- エアバッグモジュールを取外し後、熱源や光源、湿気やほこりなどのない乾燥した清潔な平面にパッド側を上に向けて保管しておくこと。



- 運転席エアバッグモジュール、助手席エアバッグモジュールまたはプリテンショナーの導通を点検しないこと。

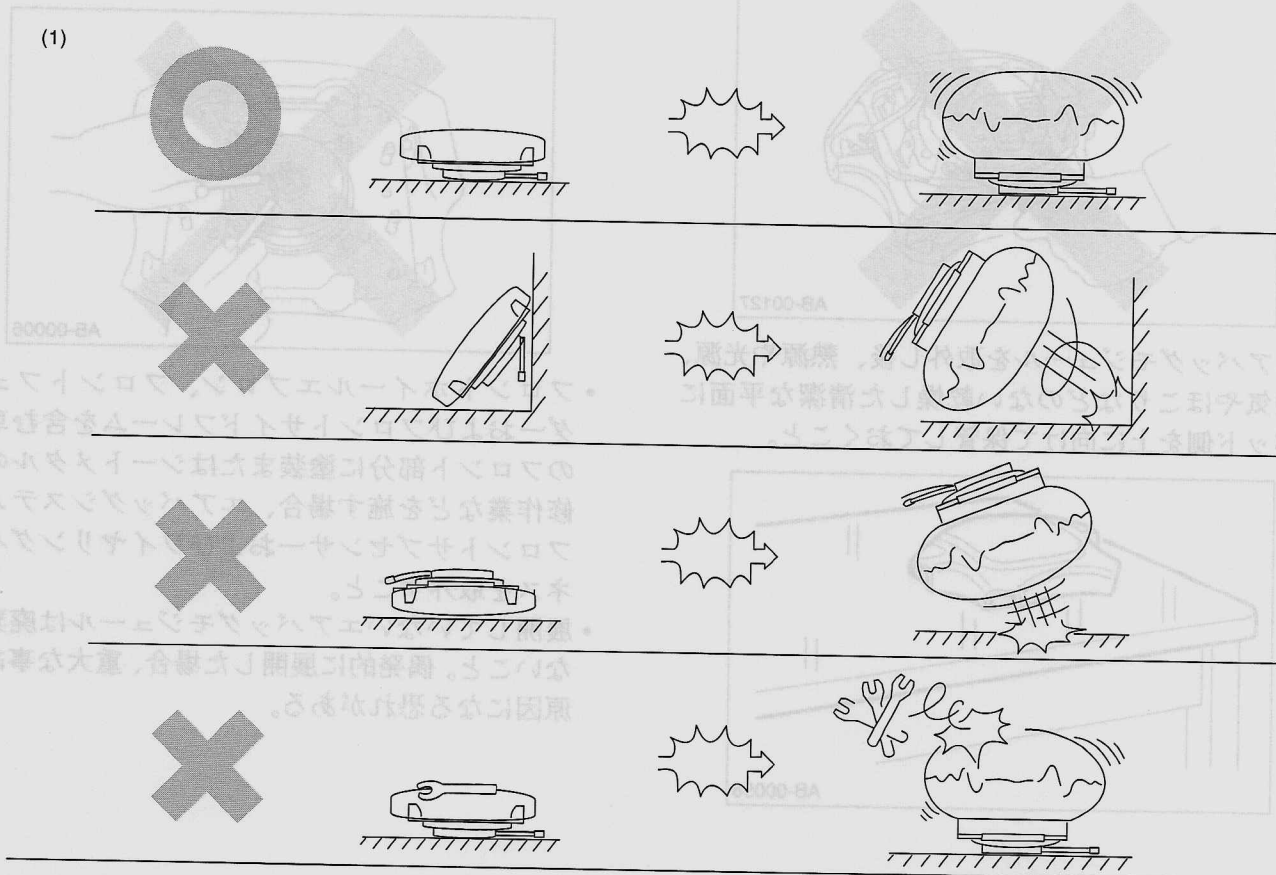


- フロントホイールエプロン、フロントフェンダーおよびフロントサイドフレームを含む車両のフロント部分に塗装またはシートメタルの補修作業などを施す場合、エアバッグシステムのフロントサブセンサーおよびワイヤリングハーネスを取外すこと。
- 展開していないエアバッグモジュールは廃棄しないこと。偶発的に展開した場合、重大な事故の原因になる恐れがある。

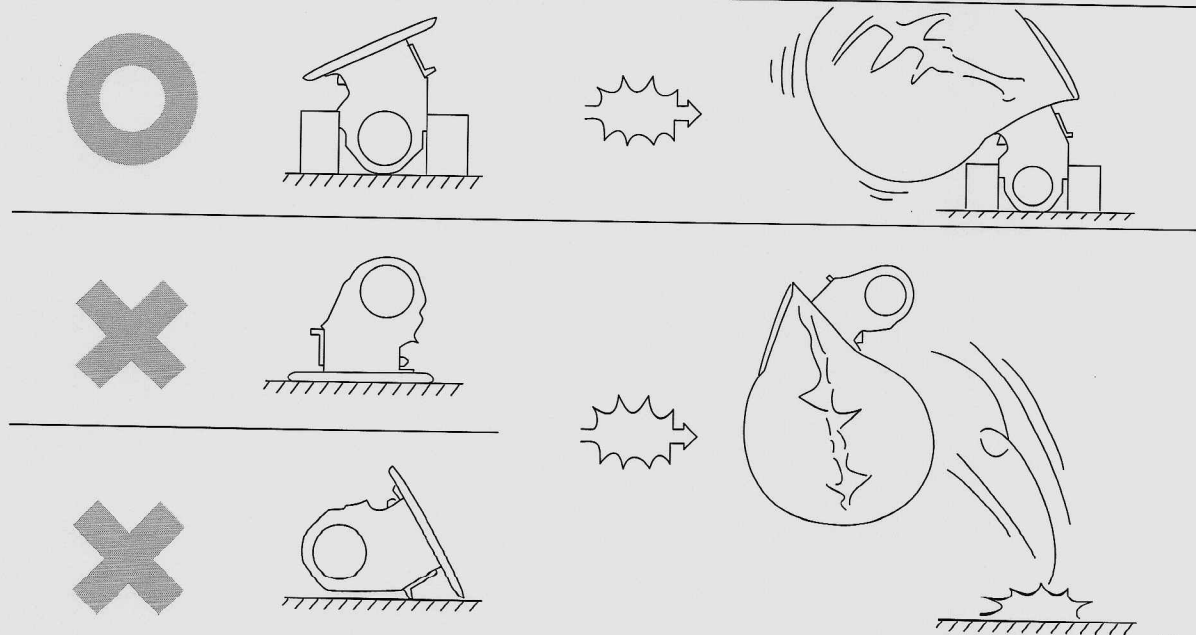
エアバッグ

- 取外したエアバッグモジュールを保管する場合、上に物を置いたり、エアバッグモジュールを積み重ねたりしないこと。エアバッグのパッドを下向きに置いたり、物の下に置いたとき、偶発的に展開した場合、重大な事故の原因になる恐れがある。

(1)



(2)



AB-00130

(1) 運転席エアバッグモジュール

(2) 助手席エアバッグモジュール

B: 点検

バッテリー電圧を測定し、バッテリー液を点検する。

標準電圧: 12 V

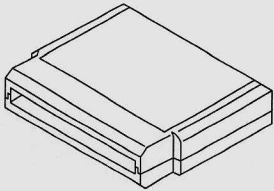
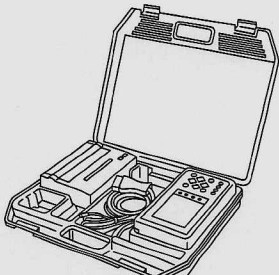
比重: 1.260 以上

C: 準備工具

注意:

エアバッグシステム構成部品の電圧、抵抗などを測定する場合、必ず規定のテストハーネスを使用すること。

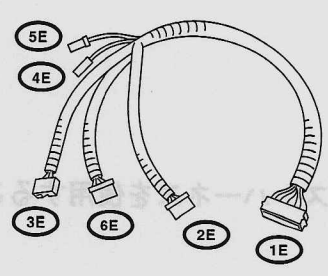
1. 特殊工具

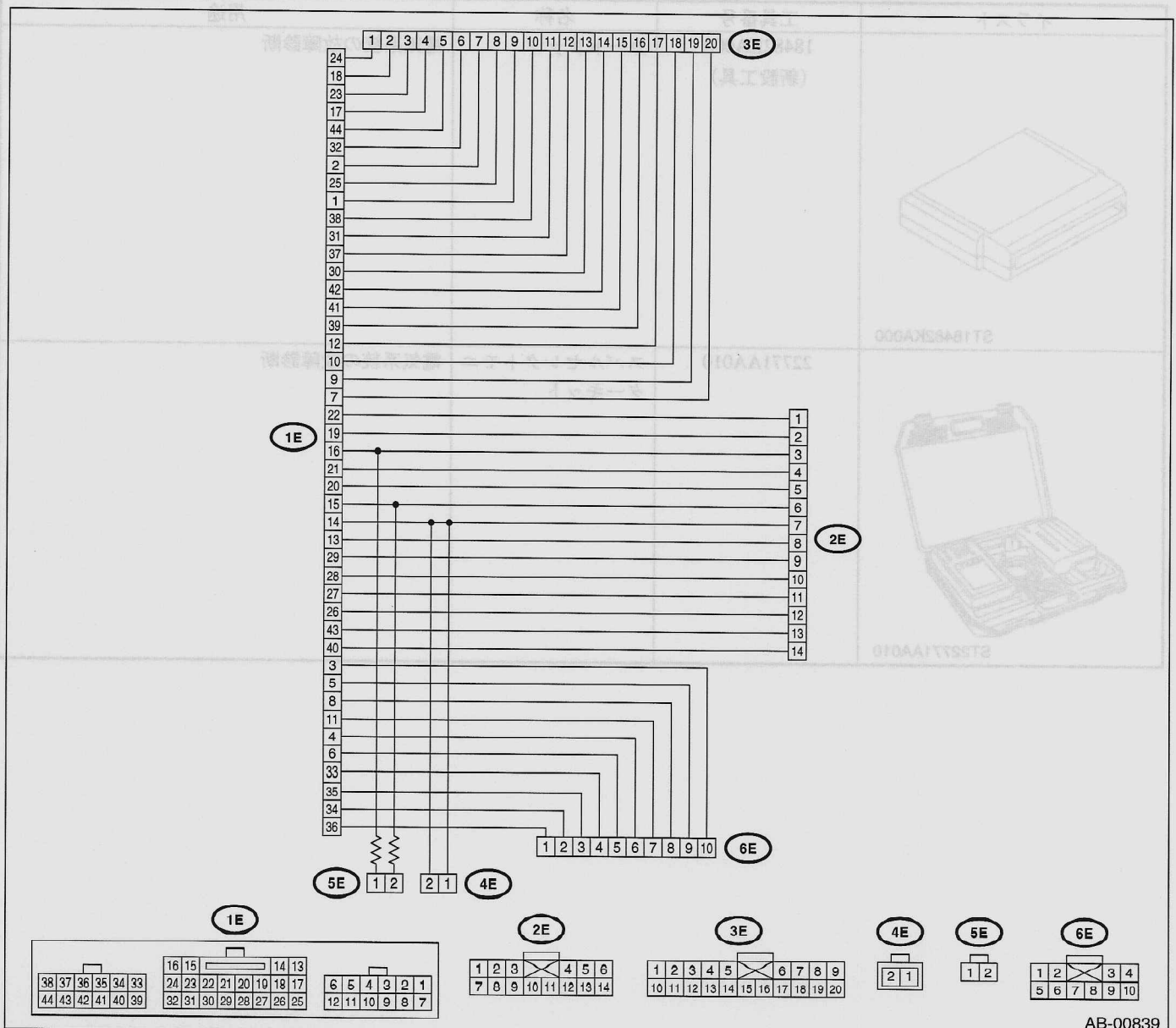
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST18482KA000	18482KA000 (新設工具)	カートリッジ	電気系統の故障診断
 ST22771AA010	22771AA010	スバルセレクトモニターキット	電気系統の故障診断

エアバッグ

• テストハーネス E3

対点 : B

イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299KG020	98299KG020	テストハーネス E3	エアバッグコントロールユニットの電圧および抵抗の測定時に使用。

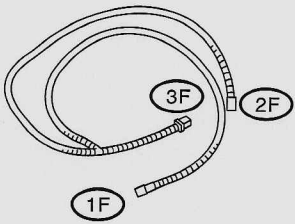


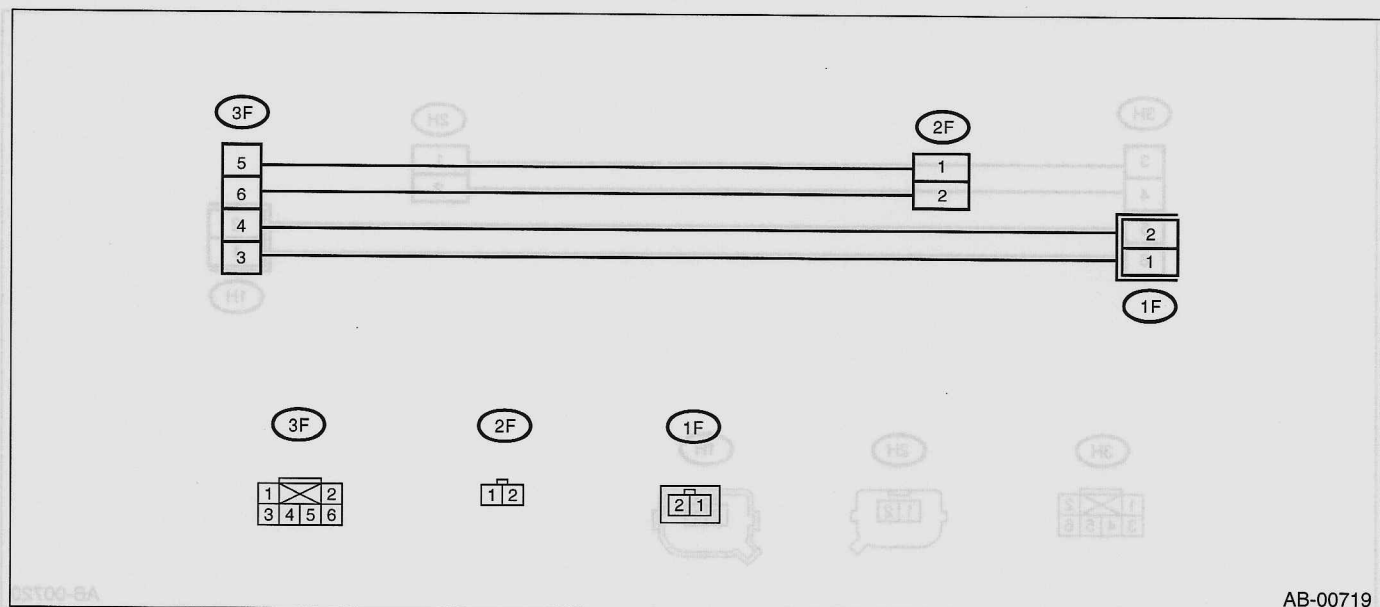
AB-00839

エアバッグ

• テストハーネス F

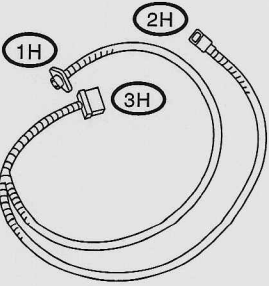
H スネーハイスマ・

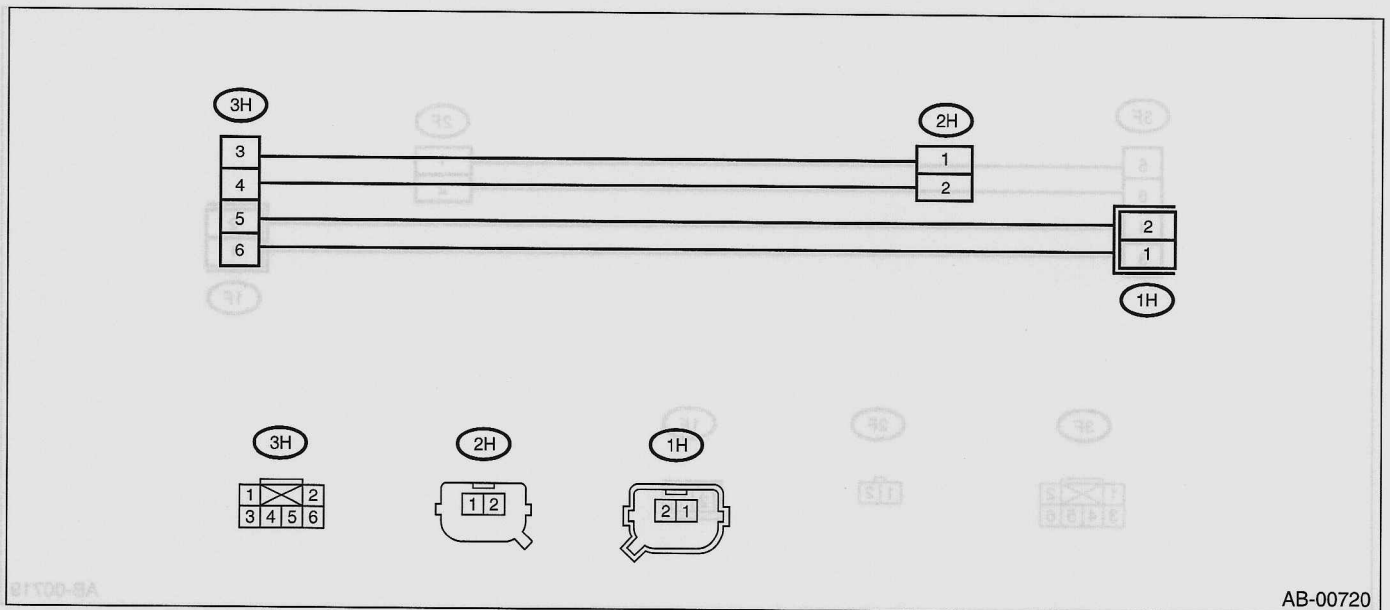
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FC010	98299FC010	テストハーネス F	エアバッグモジュールハーネスの電圧および抵抗の測定時に使用。



エアバッグ

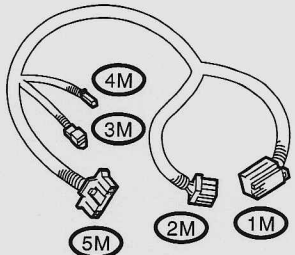
• テストハーネス H

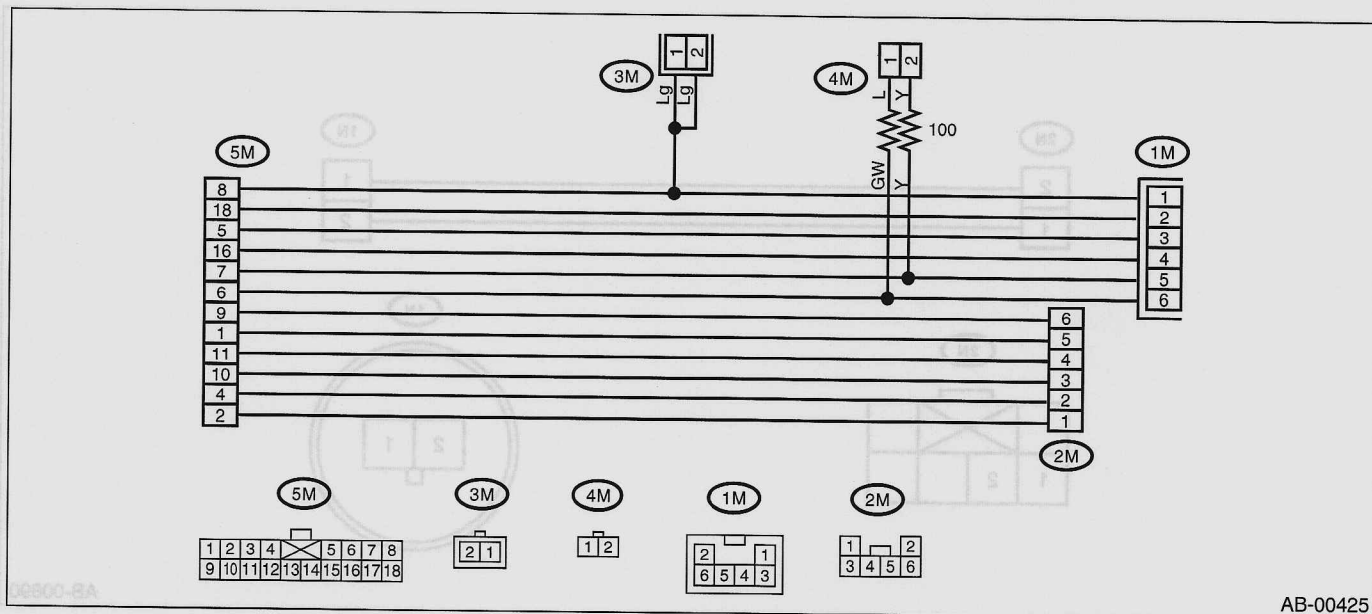
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FA030	98299FA030	テストハーネス H	フロントサブセンサーの電圧および抵抗の測定時に使用。



エアバッグ

• テストハーネス M

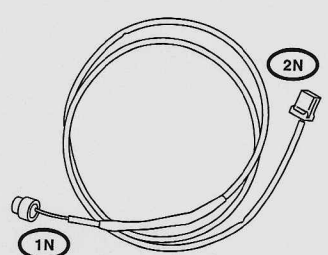
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299FE020	98299FE020	テストハーネス M	エアバッグシステムの電圧および抵抗の測定時に使用。

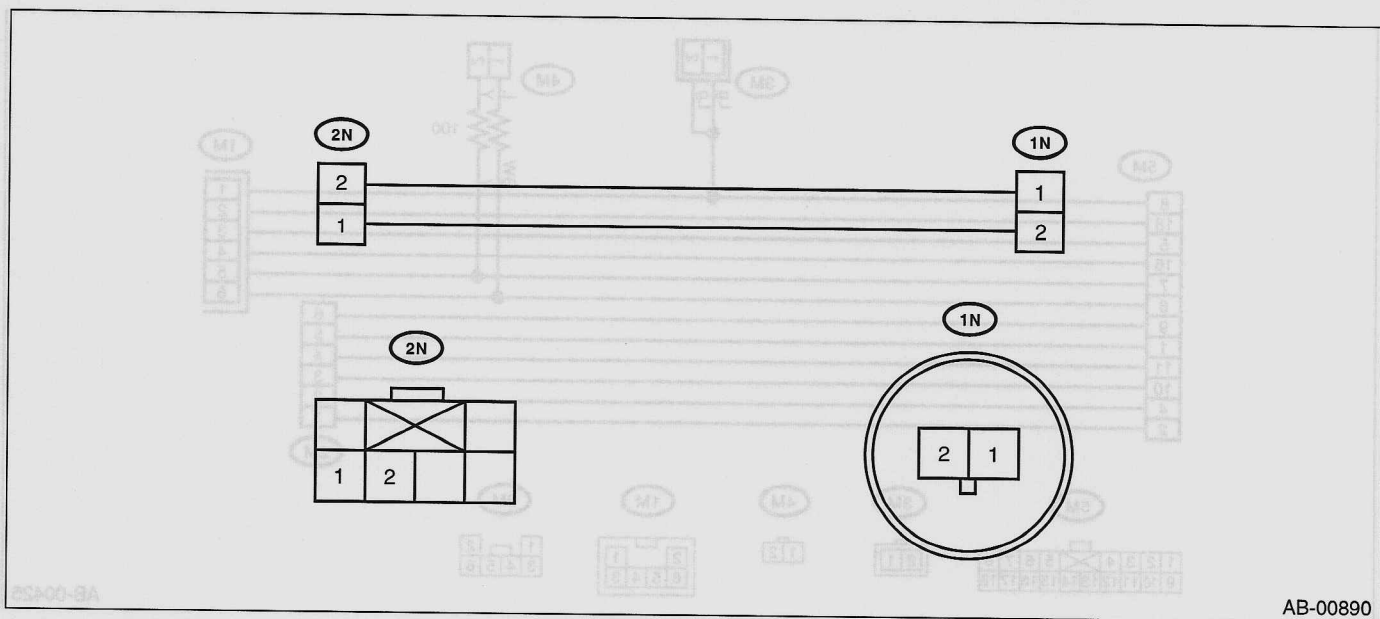


AB-00425

エアバッグ

• テストハーネス N

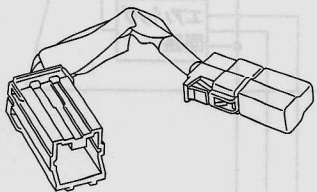
イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299SA000	98299SA000	テストハーネス N	運転席エアバッグモジュールとシートベルトプレテンショナーの電圧および抵抗の測定時に使用。

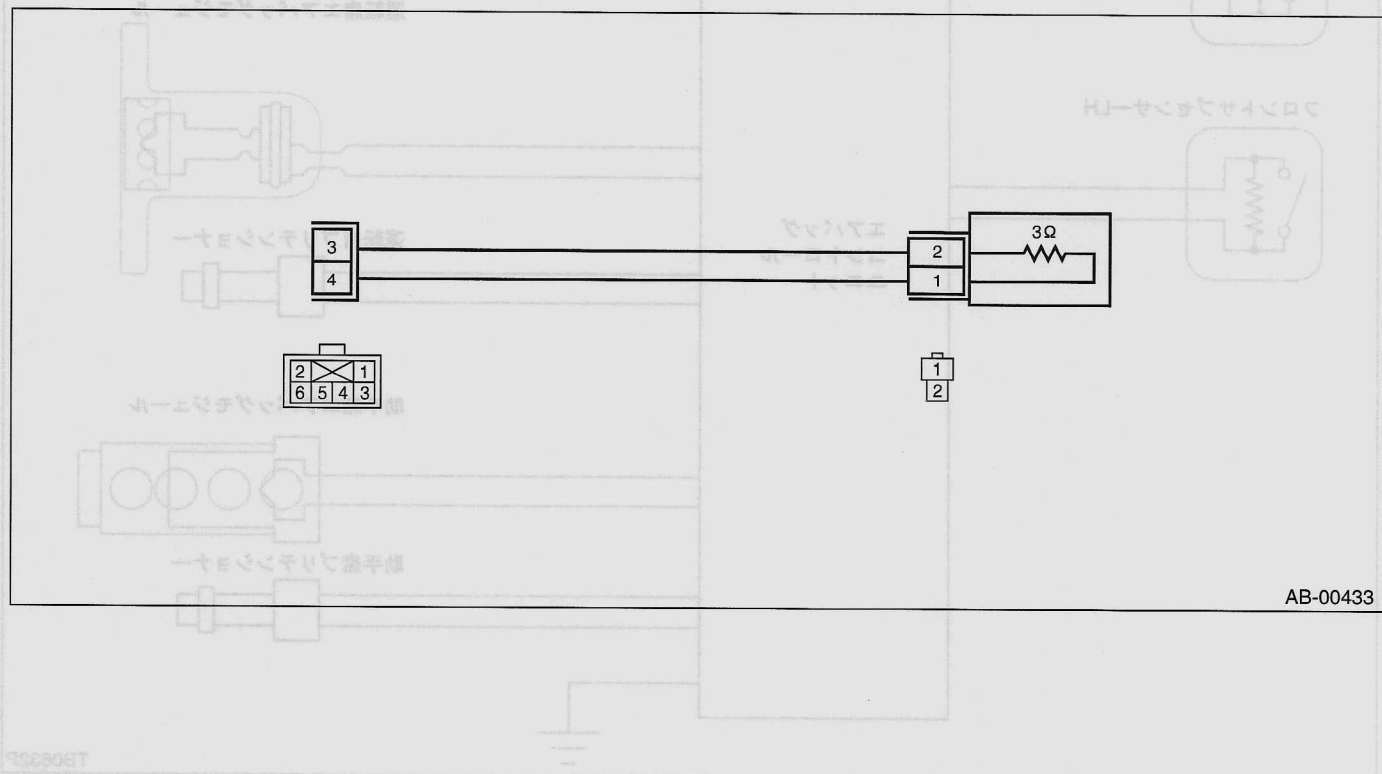


AB-00890

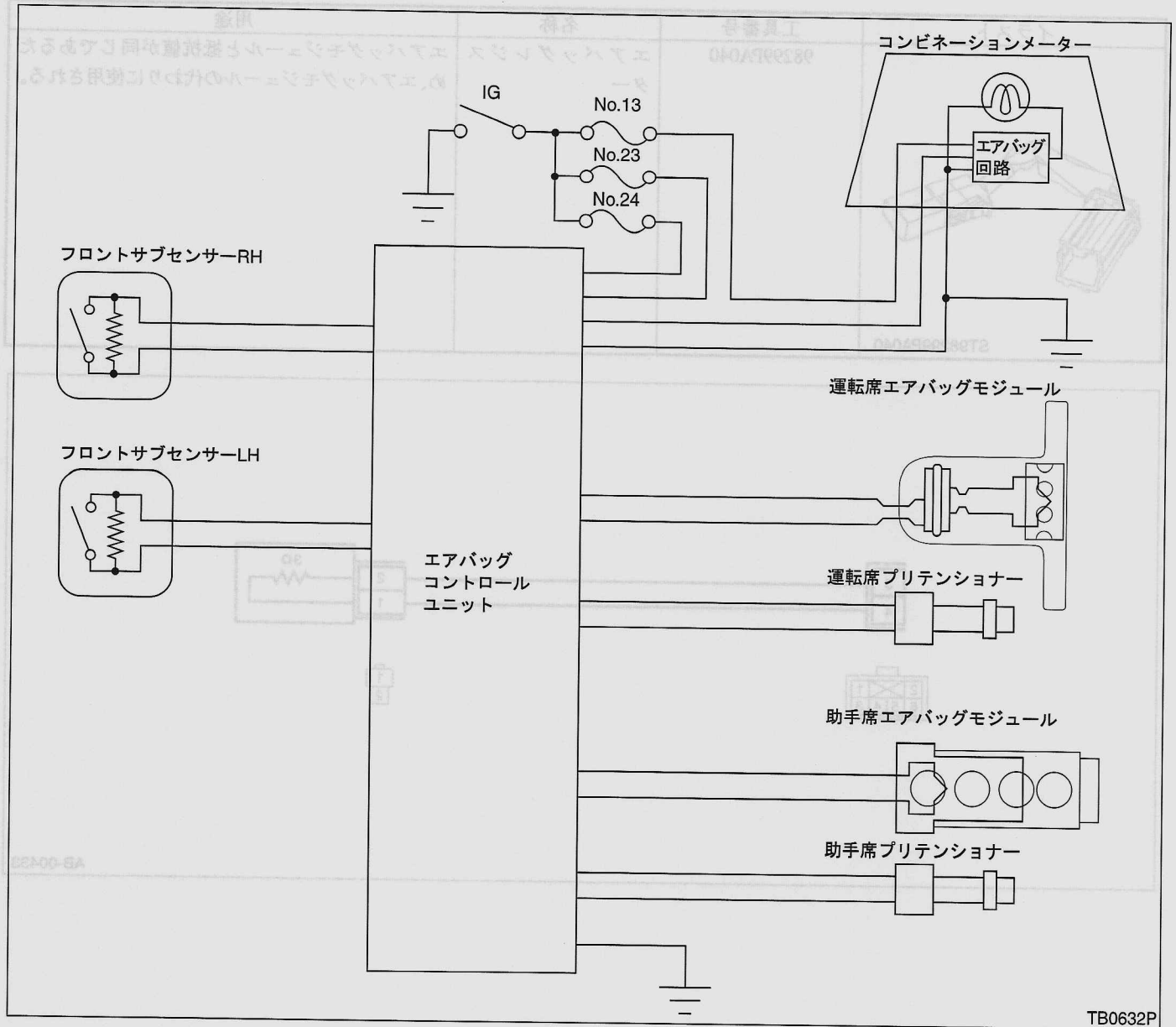
エアバッグ

• エアバッグレジスター

イラスト	工具番号	名称	用途
 ST98299PA040	98299PA040	エアバッグレジスター	エアバッグモジュールと抵抗値が同じであるため、エアバッグモジュールの代わりに使用される。



3 エアバッグコントロールユニット I/O 信号



TB0632P

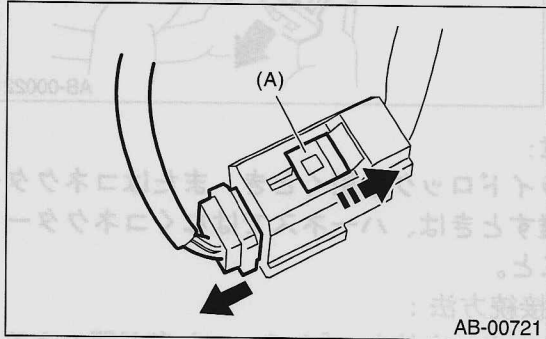
4 エアバッグコネクター

A: 手順

1. 電源

1) 切離し方法：

- (1) スライドロック (A) を矢印の方向へ動かす。
- (2) スライドロック (A) を動かした位置で保持したまま、コネクターを切離す。

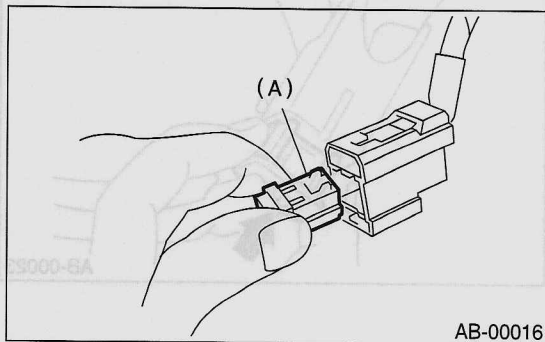


注意：

スライドロックを引くとき、またはコネクターを切離すときは、ハーネスではなくコネクターを持つこと。

2) 接続方法：

コネクター (A) を持ち、「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。



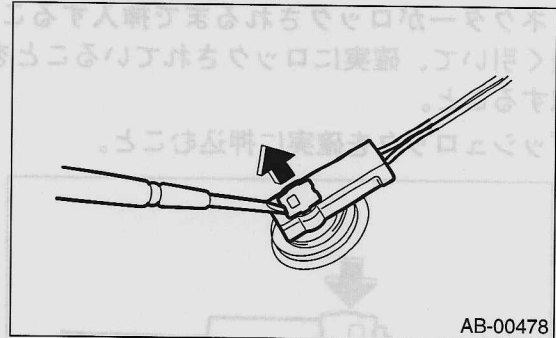
注意：

コネクターがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実にロックされていることを確認すること。

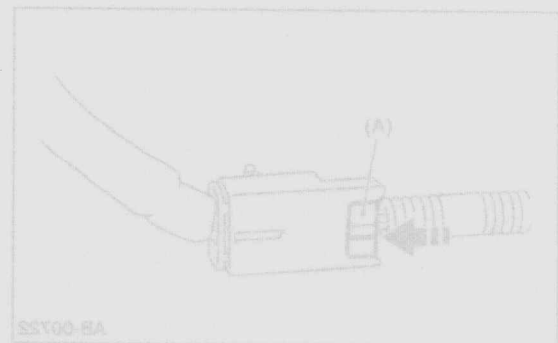
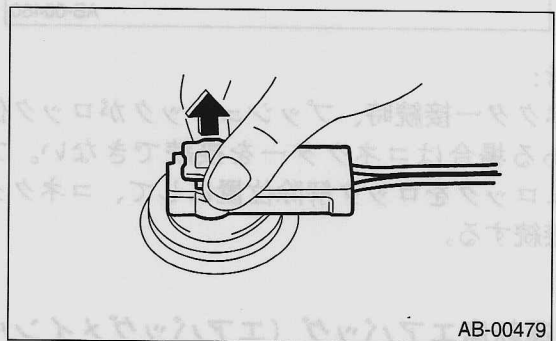
2. 運転席エアバッグモジュール、プリテンショナー

1) 切離し方法：

- (1) マイナスドライバーを使用して、プッシュロックを引上げ、ロックを解除する。



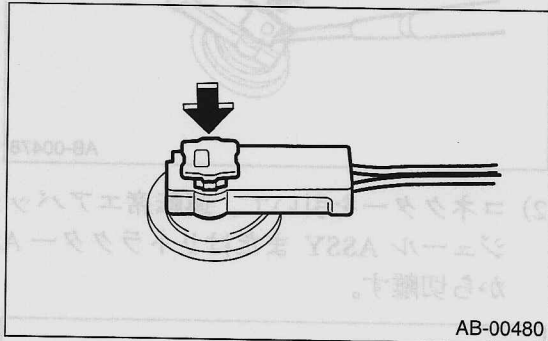
- (2) コネクターを引いて、運転席エアバッグモジュール ASSY またはリトラクター ASSY から切離す。



2) 接続方法 :
切離しの逆手順で、コネクタを接続する。このとき、プッシュロックを「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意:

- コネクタがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実にロックされていることを確認すること。
- プッシュロックを確実に押込むこと。



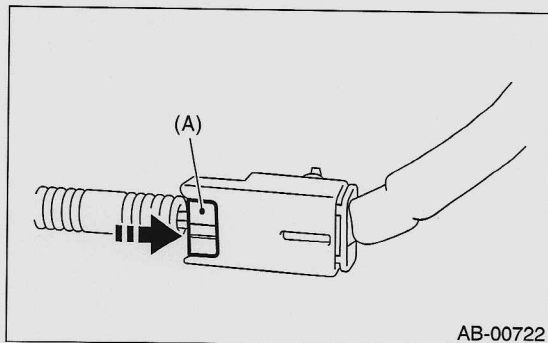
参考:

コネクタ接続時、プッシュロックがロック位置にある場合はコネクタを接続できない。プッシュロックをロック解除位置にして、コネクタを接続する。

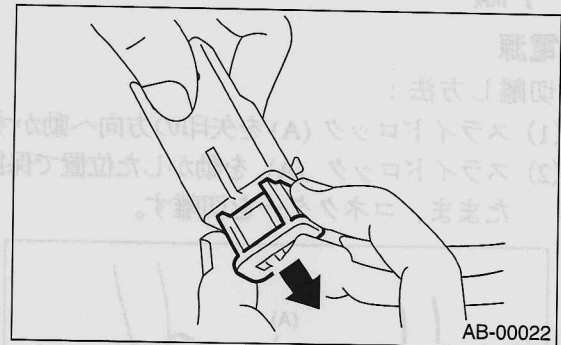
3. 運転席エアバッグ（エアバッグメインハーネスとロールコネクタ間）& 助手席エアバッグ

1) 切離し方法 :

(1) スライドロック (A) を矢印の方向へ押込む。



(2) スライドロックを押込んだ状態で保持したまま、コネクタを切離す。



注意:

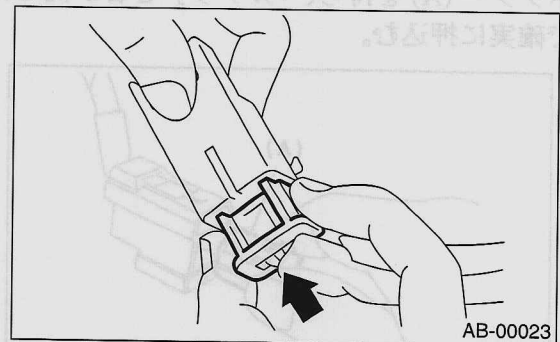
スライドロックを引くとき、またはコネクタを切離すときは、ハーネスではなくコネクタを持つこと。

2) 接続方法 :

コネクタを持ち、「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意:

コネクタがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実にロックされていることを確認すること。



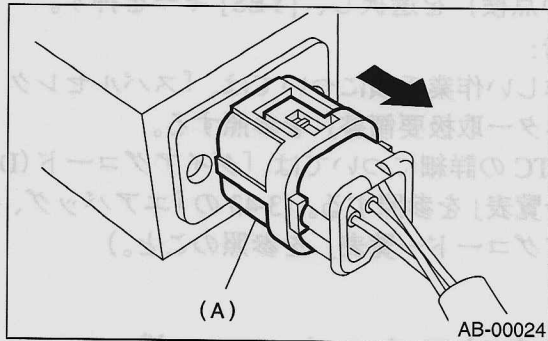
4. フロントサブセンサー

1) 切離し方法：

外側部分 (A) を持ち、矢印の方向へ引く。

注意：

スライドロックを引くとき、またはコネクタを切離すときは、ハーネスではなくコネクタを持つこと。

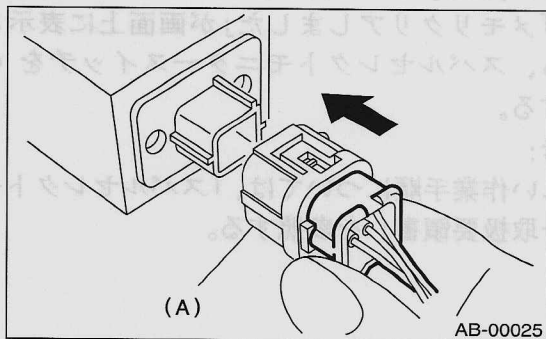


2) 接続方法：

コネクタを持ち、「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意：

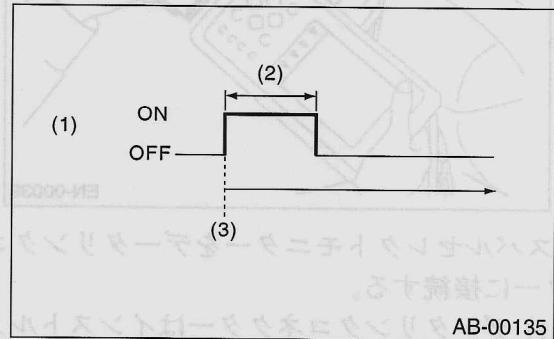
- 外側 (A) は元の位置に戻ってしまうため、外側部分には触れないこと。
- コネクタがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実にロックされていることを確認すること。



5 エアバッグ警告灯の点灯パターン

A: 点検

イグニッションスイッチを ON にするとエアバッグ警告灯が約6秒間点灯し、その後はイグニッションスイッチを ON にしたままでも消灯することを確認する。



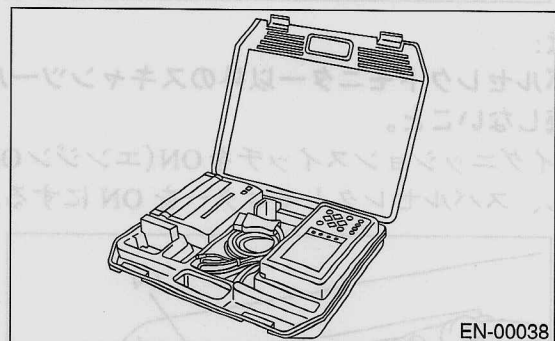
- (1) エアバッグ警告灯
- (2) 約6秒
- (3) イグニッションスイッチ ON

6 スバルセレクトモニター

A: 操作

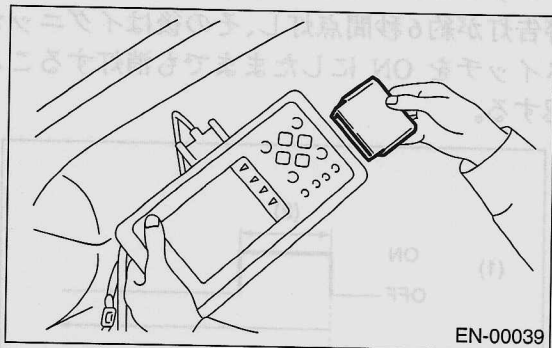
1. スバルセレクトモニターの使用法

- 1) スバルセレクトモニターキットを準備する。(3-27 の「エアバッグ、概要、準備工具」を参照のこと。)



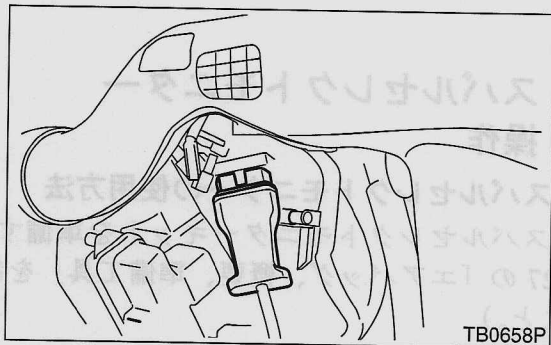
- 2) ダイアグケーブルをスバルセレクトモニターに接続する。

- 3) カートリッジをスバルセレクトモニターに挿入する。(3-27の「エアバッグ、概要、準備工具」を参照のこと。)



- 4) スバルセレクトモニターをデータリンクコネクタに接続する。

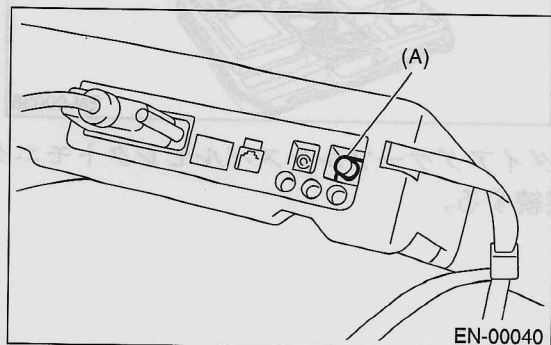
- (1) データリンクコネクタはインストルメントパネル下部（運転席側）に取付けられている。
- (2) ダイアグケーブルをデータリンクコネクタに接続する。



注意:

スバルセレクトモニター以外のスキャンツールを接続しないこと。

- 5) イグニッションスイッチをON(エンジンOFF)にし、スバルセレクトモニターをONにする。



(A) 電源スイッチ

- 6) «メインメニュー»画面で、{個別システムの点検}を選択し、[YES]キーを押す。
- 7) «システム選択メニュー»画面で、{エアバッグシステム}を選択し、[YES]キーを押す。
- 8) {エアバッグシステム}が表示された後、[YES]キーを押す。
- 9) «エアバッグシステム»画面で、{ダイアグコードの点検}を選択し、[YES]キーを押す。

参考:

- 詳しい作業手順については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。
- DTCの詳細については、「ダイアグコード(DTC)一覧表」を参照する。(3-43の「エアバッグ、ダイアグコード一覧表」を参照のこと。)

7 クリアメモリーモード

A: 操作

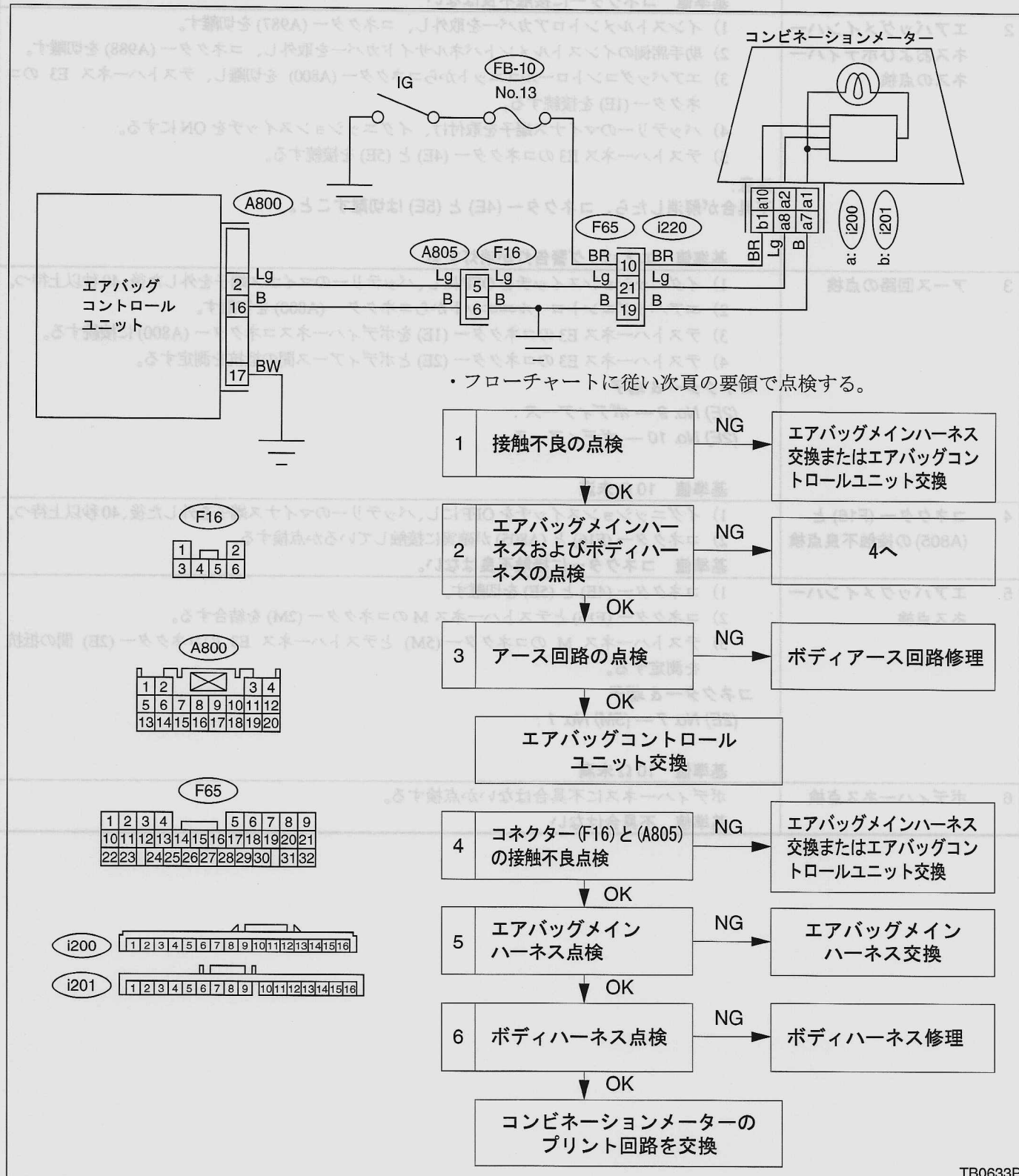
- 1) «メインメニュー»画面で、{個別システムの点検}を選択し、[YES]キーを押す。
- 2) «システム選択メニュー»画面で、{エアバッグシステム}を選択し、[YES]キーを押す。
- 3) «エアバッグシステム»画面で、{メモリクリア}を選択し、[YES]キーを押す。
- 4) 「メモリクリアを実行しますか?」と表示されたら、[YES]キーを押す。
- 5) 「メモリクリアしました」が画面上に表示されたら、スバルセレクトモニタースイッチをOFFにする。

参考:

詳しい作業手順については、「スバルセレクトモニター取扱要領書」を参照する。

8 エアバッグ警告灯の不具合

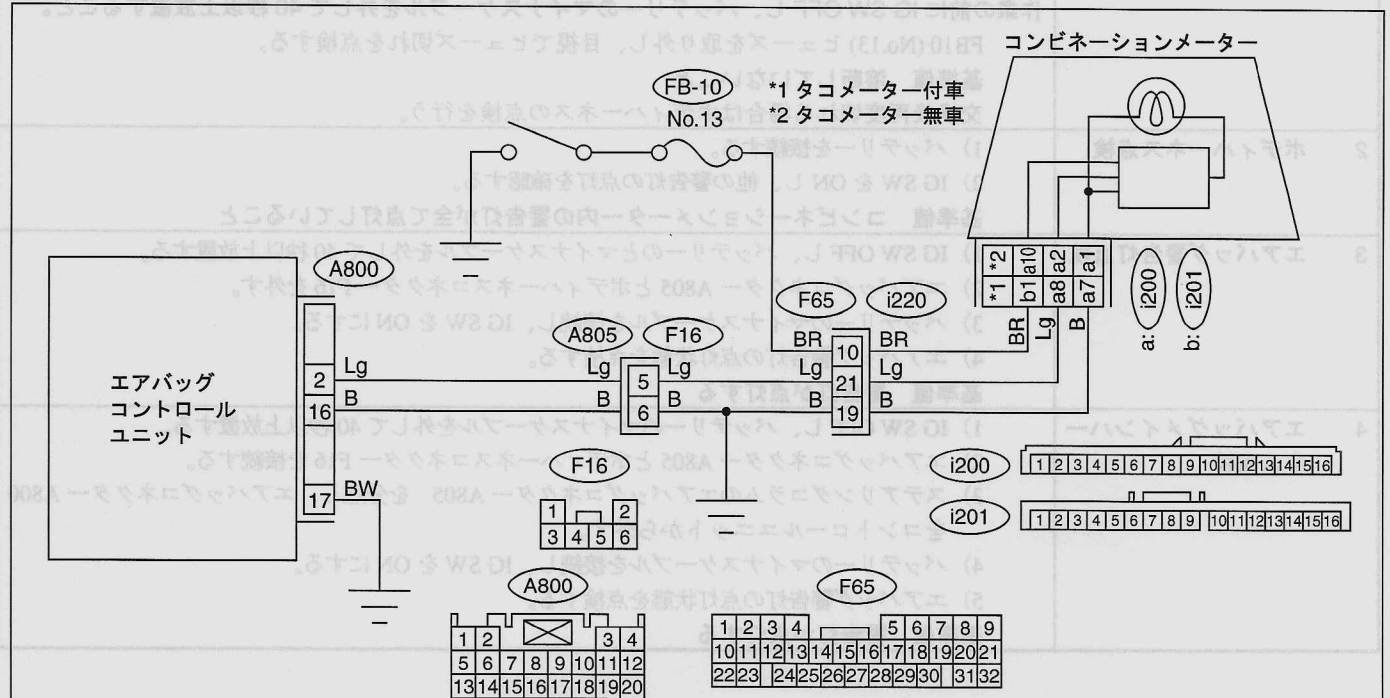
A: エアバッグ警告灯が点灯したまま



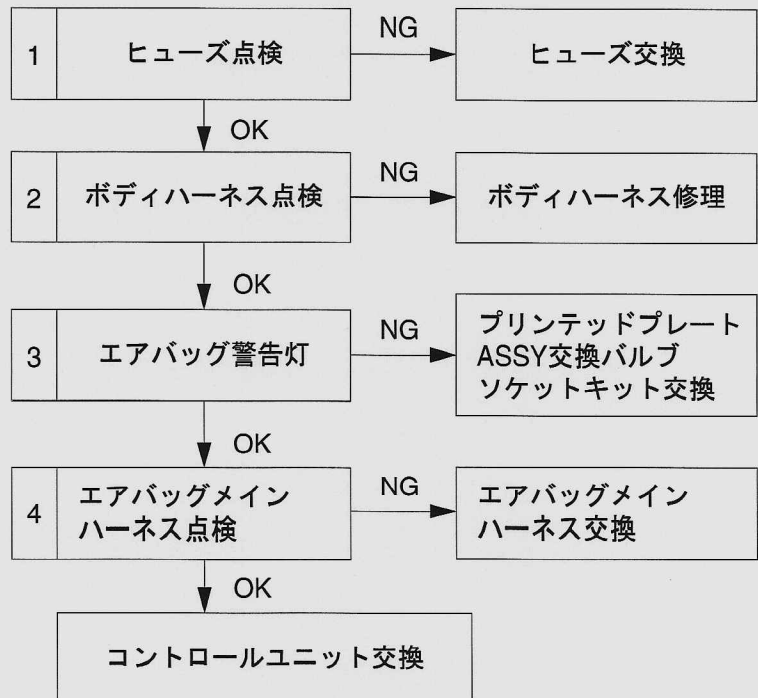
エアバッグ

1 接触不良の点検	1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、40 秒以上待つ。 2) エアバッグコントロールユニットとコネクタ (A800) が確実に接触しているか点検する。 基準値 コネクタに接触不良はない
2 エアバッグメインハーネスおよびボディハーネスの点検	1) インストルメントロアカバーを外し、コネクタ (A987) を切離す。 2) 助手席側のインストルメントパネルサイドカバーを外し、コネクタ (A988) を切離す。 3) エアバッグコントロールユニットからコネクタ (A800) を切離し、テストハーネス E3 のコネクタ (1E) を接続する。 4) バッテリーのマイナス端子を取付け、イグニッションスイッチを ON にする。 5) テストハーネス E3 のコネクタ (4E) と (5E) を接続する。 注意: 不具合が解消したら、コネクタ (4E) と (5E) は切離すこと。 基準値 エアバッグ警告灯が消灯する
3 アース回路の点検	1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、40 秒以上待つ。 2) エアバッグコントロールユニットからコネクタ (A800) を切離す。 3) テストハーネス E3 のコネクタ (1E) をボディハーネスコネクタ (A800) に接続する。 4) テストハーネス E3 のコネクタ (2E) とボディアース間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2E) No. 9 — ボディアース : (2E) No. 10 — ボディアース : 基準値 10 Ω 未満
4 コネクタ (F16) と (A805) の接触不良点検	1) イグニッションスイッチを OFF にし、バッテリーのマイナス端子を外した後、40 秒以上待つ。 2) コネクタ (F16) と (A805) が確実に接触しているか点検する。 基準値 コネクタに接触不良はない。
5 エアバッグメインハーネス点検	1) コネクタ (4E) と (5E) を切離す。 2) コネクタ (F16) とテストハーネス M のコネクタ (2M) を結合する。 3) テストハーネス M のコネクタ (5M) とテストハーネス E3 のコネクタ (2E) 間の抵抗を測定する。 コネクタ & 端子 (2E) No. 7 — (5M) No. 1 : 基準値 10 Ω 未満
6 ボディハーネス点検	ボディハーネスに不具合はないか点検する。 基準値 不具合はない

B: エアバッグ警告灯が点灯しない



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



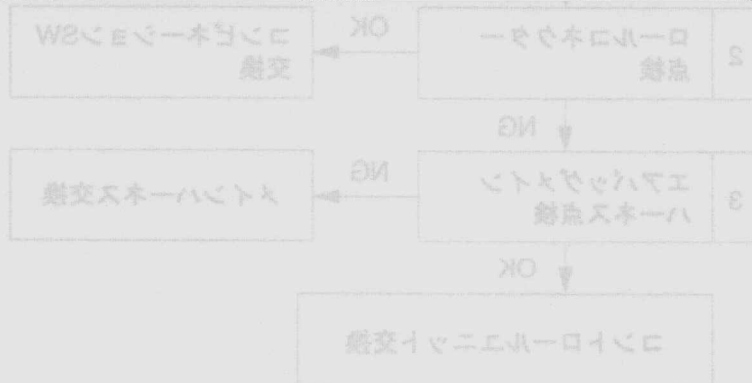
TB0634P

エアバッグ

1	ヒューズ点検	注意: 作業の前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上放置すること。 FB10 (No.13) ヒューズを取り外し、目視でヒューズ切れを点検する。 基準値 溶断していないこと 交換後再度切れる場合はボディハーネスの点検を行う。
2	ボディハーネス点検	1) バッテリーを接続する。 2) IG SW を ON し、他の警告灯の点灯を確認する。 基準値 コンビネーションメーター内の警告灯が全て点灯していること
3	エアバッグ警告灯点検	1) IG SW OFF し、バッテリーのとマイナスケーブルを外して 40 秒以上放置する。 2) エアバッグコネクタ A805 とボディハーネスコネクタ F16 を外す。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 4) エアバッグ警告灯の点灯状態を点検する。 基準値 警告灯が点灯する
4	エアバッグメインハーネス点検	1) IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上放置する。 2) エアバッグコネクタ A805 とボディハーネスコネクタ F16 を接続する。 3) ステアリングコラムのエアバッグコネクタ A805 を分離し、エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外す。 4) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 5) エアバッグ警告灯の点灯状態を点検する。 基準値 警告灯が点灯する

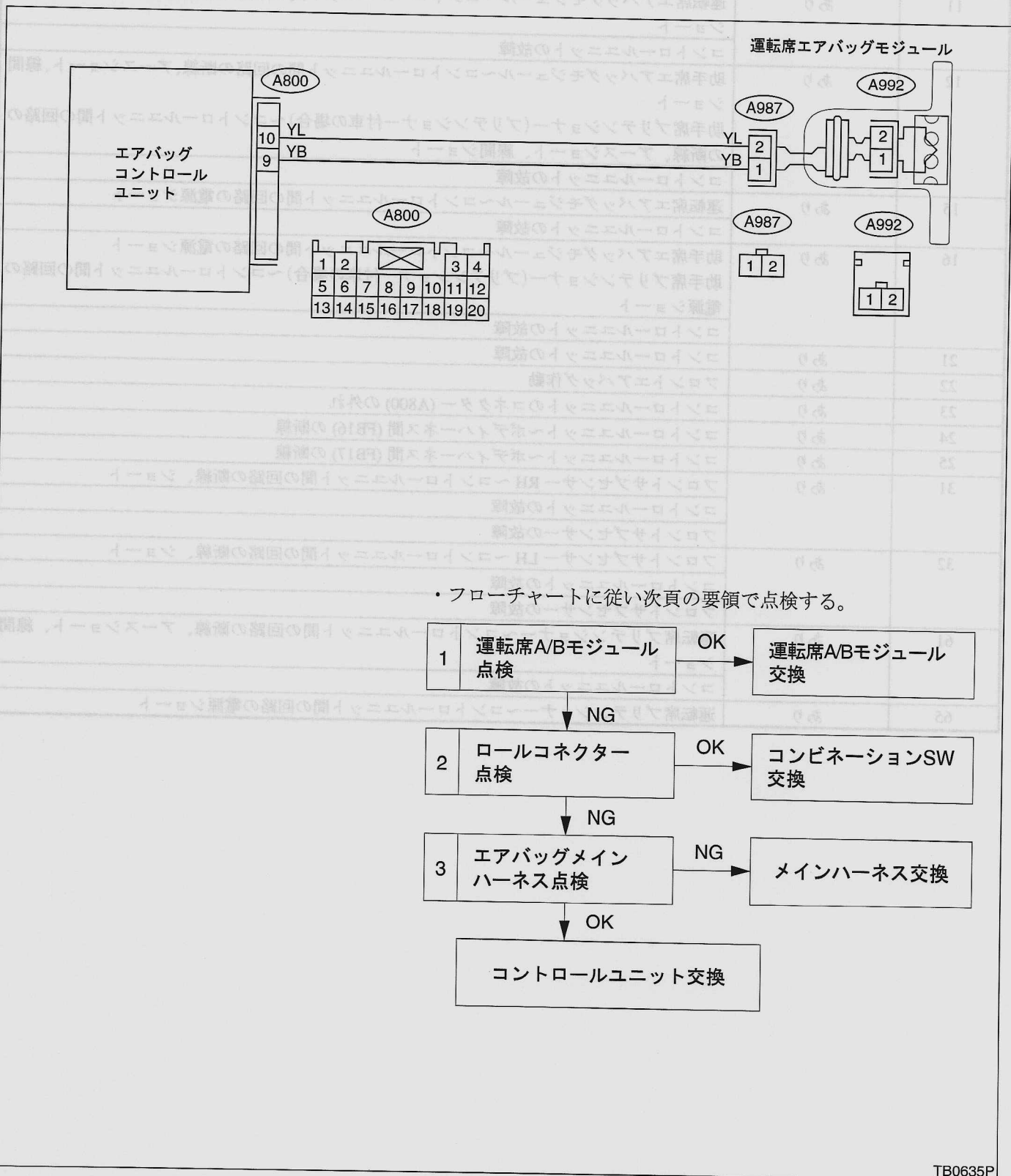
9 ダイアグコード一覧表

コード	メモリーの有無	診断内容
11	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の断線、アースショート、線間ショート コントロールユニットの故障
12	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の断線、アースショート、線間ショート 助手席プリテンショナー(プリテンショナー付車の場合)～コントロールユニット間の回路の断線、アースショート、線間ショート コントロールユニットの故障
15	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の電源ショート コントロールユニットの故障
16	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の電源ショート 助手席プリテンショナー(プリテンショナー付車の場合)～コントロールユニット間の回路の電源ショート コントロールユニットの故障
21	あり	コントロールユニットの故障
22	あり	フロントエアバッグ作動
23	あり	コントロールユニットのコネクター (A800) の外れ
24	あり	コントロールユニット～ボディハーネス間 (FB16) の断線
25	あり	コントロールユニット～ボディハーネス間 (FB17) の断線
31	あり	フロントサブセンサー RH ～コントロールユニット間の回路の断線、ショート コントロールユニットの故障 フロントサブセンサーの故障
32	あり	フロントサブセンサー LH ～コントロールユニット間の回路の断線、ショート コントロールユニットの故障 フロントサブセンサーの故障
61	あり	運転席プリテンショナー～コントロールユニット間の回路の断線、アースショート、線間ショート コントロールユニットの故障
65	あり	運転席プリテンショナー～コントロールユニット間の回路の電源ショート



10 ダイアグコード別診断

A: コード 11 運転席エアバッグ回路、断線・アースショート・線間ショート (ワゴンおよびバン)



TB0635P

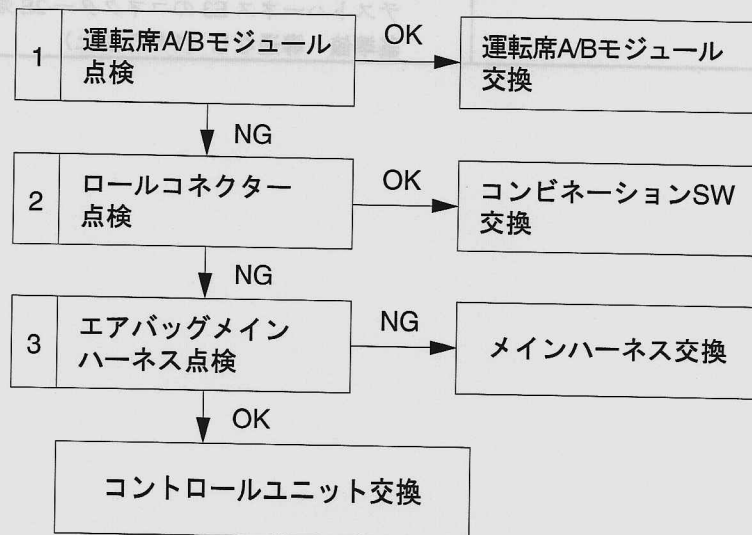
エアバッグ

1 運転席エアバッグモジュール点検	注意: 作業前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) 運転席エアバッグモジュールをはずす。 2) A992 コネクタにテストハーネス N を接続する。 3) テストハーネス N にエアバッグレジスターを接続する。 4) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 ロールコネクタ点検	注意: 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後作業すること。 1) A987 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
3 エアバッグメインハーネス点検	注意: 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E と接続する。 2) 次の間の導通点検 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 1 ~ テストハーネス F のコネクタ 3F 端子 4 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 4 ~ テストハーネス F のコネクタ 3F 端子 3 基準値 導通あり (10 Ω 以下) 3) 次の端子間の絶縁を点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 1 ~ 端子 4 基準値 導通なし (1 MΩ 以上) 4) 次の間の絶縁を点検 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 4 ~ ボディアース テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 1 ~ ボディアース 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)

B: コード 11 運転席エアバッグ回路、断線・アースショート・線間ショート
(トラックおよびパネルバン)



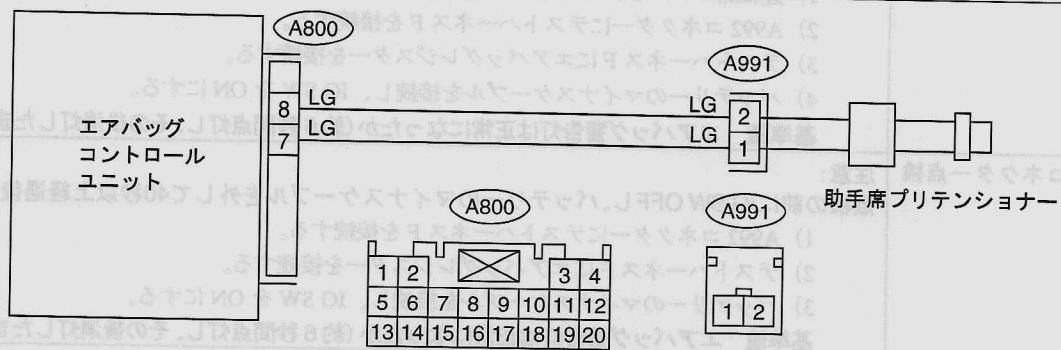
- ・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



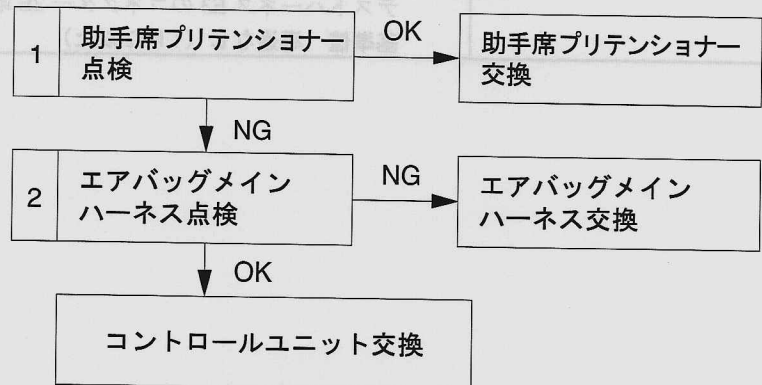
エアバッグ

1 運転席エアバッグモジュール点検	注意: 作業前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) 運転席エアバッグモジュールを外す。 2) A992 コネクタにテストハーネス F を接続する。 3) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 4) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 ロールコネクタ点検	注意: 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後作業すること。 1) A992 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
3 エアバッグメインハーネス点検	注意: 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E と接続する。 2) 次の間の導通点検 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 1 ~ テストハーネス F のコネクタ 3F 端子 4 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 4 ~ テストハーネス F のコネクタ 3F 端子 3 基準値 導通あり (10 Ω 以下) 3) 次の端子間の絶縁を点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 1 ~ 端子 4 基準値 導通なし (1 MΩ 以上) 4) 次の間の絶縁を点検 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 4 ~ ボディアース テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 1 ~ ボディアース 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)

C: コード 12 助手席プリテンショナー回路、断線・アースショート・線間ショート (助手席プリテンショナー付車)



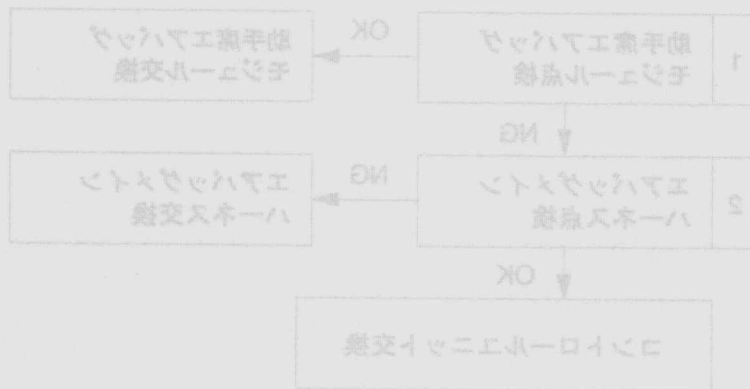
・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



エアバッグ

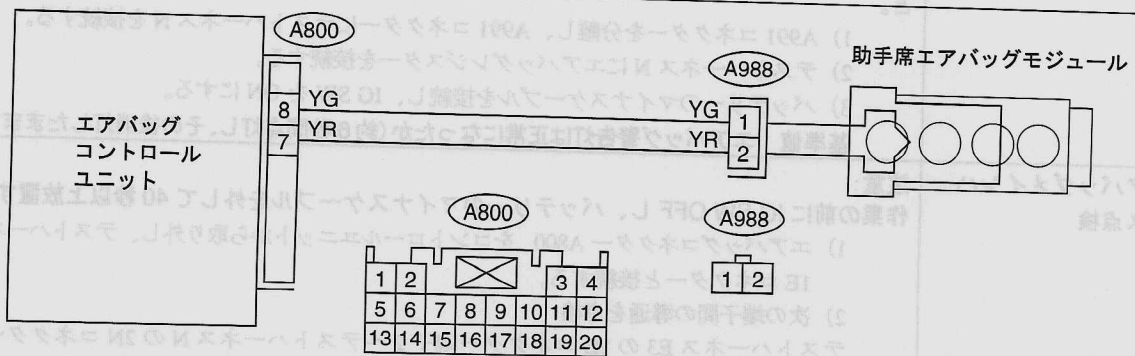
1 助手席プリテンショナー点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A991 コネクタを分離し、A991 コネクタにテストハーネス N を接続する。 2) テストハーネス N にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上放置すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) 次の端子間の導通を点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ テストハーネス N の 2N コネクタ端子 1 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ~ テストハーネス N の 2N コネクタ端子 2 基準値 導通あり (10 Ω 以下) 3) 次の端子間の絶縁点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ 端子 5 基準値 導通なし (1 MΩ 以上) 4) 次の間の絶縁点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ~ ボディアース間 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)

。るす絶点フ断要の頁ボ、の道コイ一ナマ一ロマ・

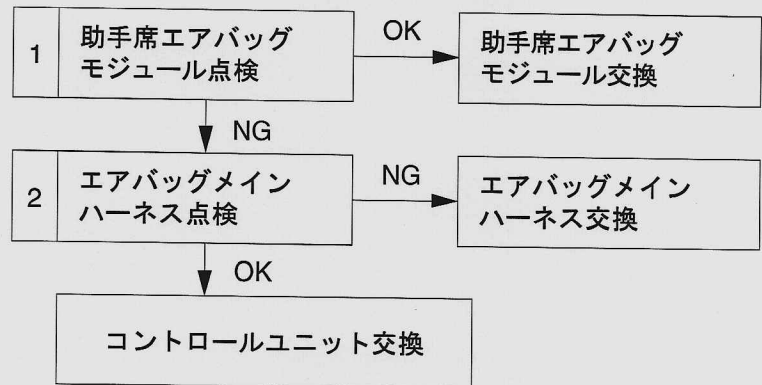


エアバッグ

D: コード 12 助手席エアバッグ回路、断線・アースショート・線間ショート (助手席プリテンショナー無車)



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。

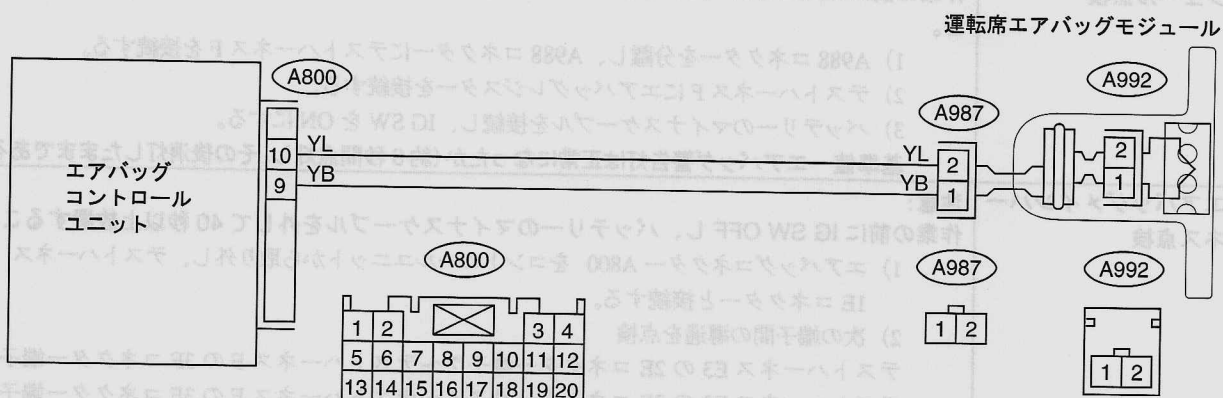


TB0638P

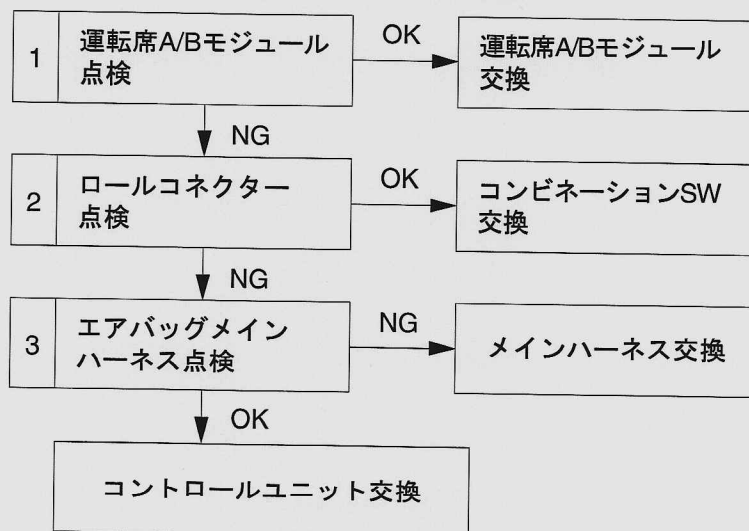
エアバッグ

1 助手席エアバッグモジュール点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A988 コネクタを分離し、A988 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスタを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上放置すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) 次の端子間の導通を点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ テストハーネス F の 3F コネクタ端子 4 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ~ テストハーネス F の 3F コネクタ端子 3 基準値 導通あり (10 Ω 以下) 3) 次の端子間の絶縁点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ 端子 5 基準値 導通なし (1 MΩ 以上) 4) 次の間の絶縁点検 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ~ ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ~ ボディアース間 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)

E: コード 15 運転席エアバッグ回路電源ショート (ワゴンおよびバン)

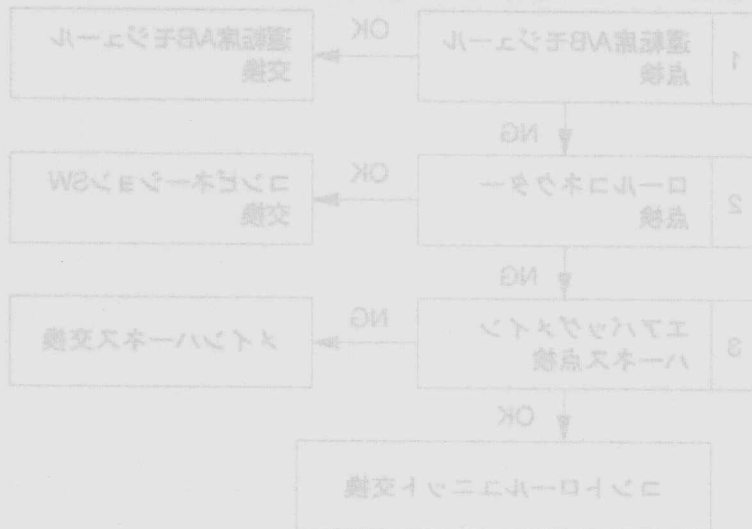


・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。

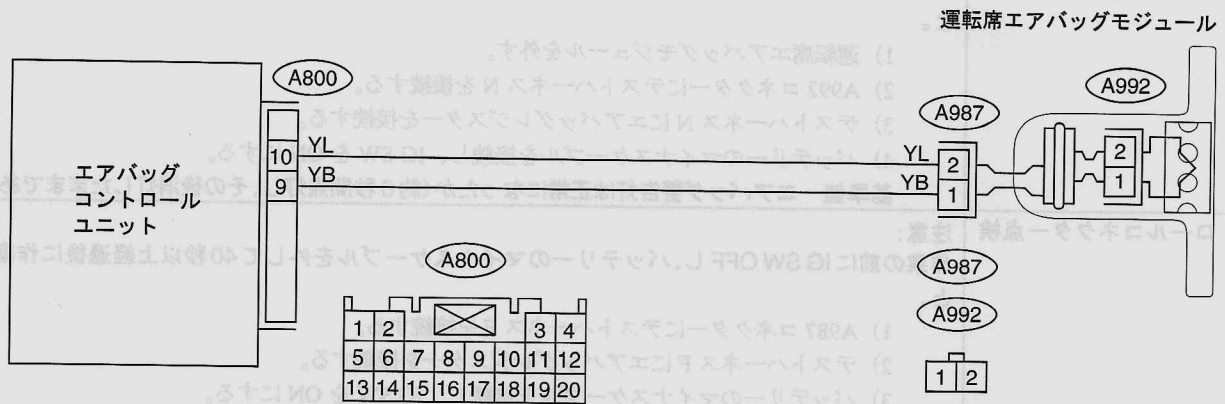


エアバッグ

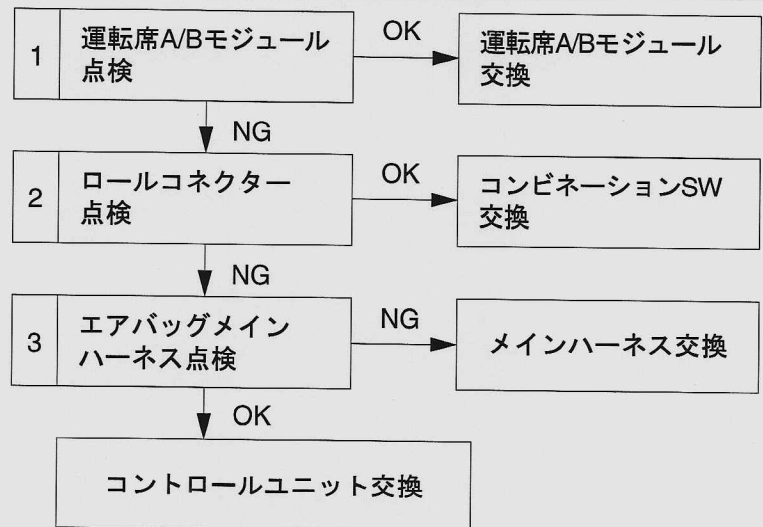
1 運転席エアバッグモジュール点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) 運転席エアバッグモジュールを外す。 2) A992 コネクタにテストハーネス N を接続する。 3) テストハーネス N にエアバッグレジスターを接続する。 4) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 ロールコネクタ点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A987 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
3 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 4 ~ ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 1 ~ ボディアース間 基準値 1 V 以下



F: コード 15 運転席エアバッグ回路電源ショート (トラックおよびパネルバン)

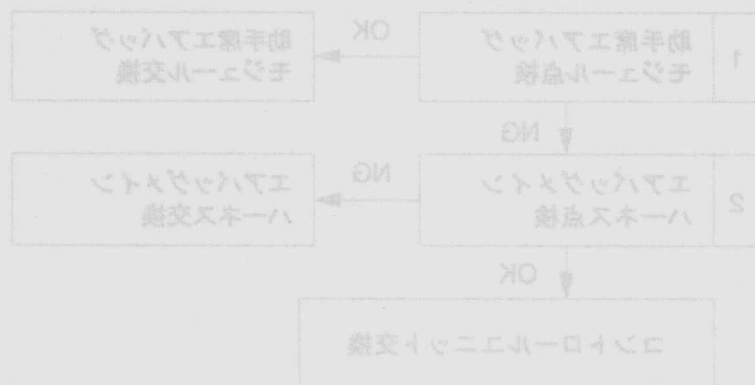


・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。

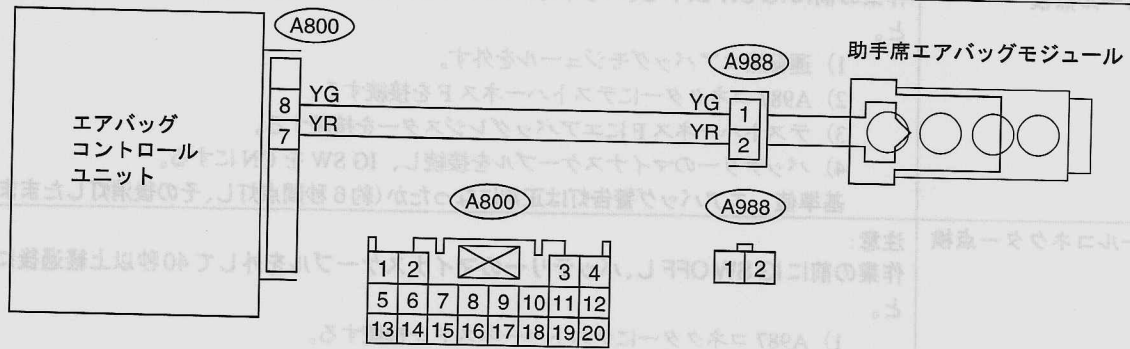


エアバッグ

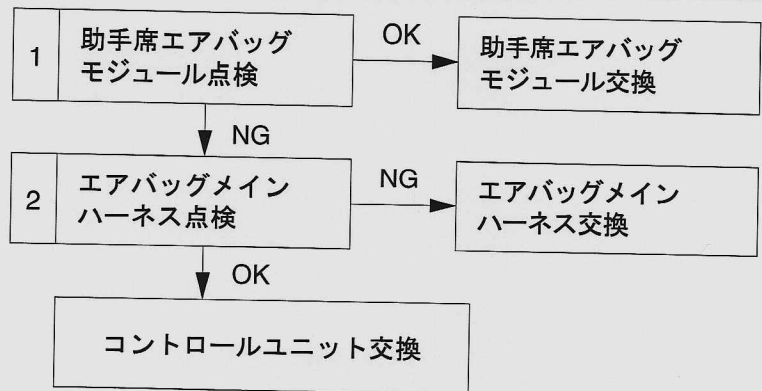
1 運転席エアバッグモジュール点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) 運転席エアバッグモジュールを外す。 2) A987 コネクタにテストハーネス F を接続する。 3) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 4) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 ロールコネクタ点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A987 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
3 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 4 ~ ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 1 ~ ボディアース間 基準値 1 V 以下



G: コード 16 助手席エアバッグ回路電源ショート (助手席プリテンショナー無車)



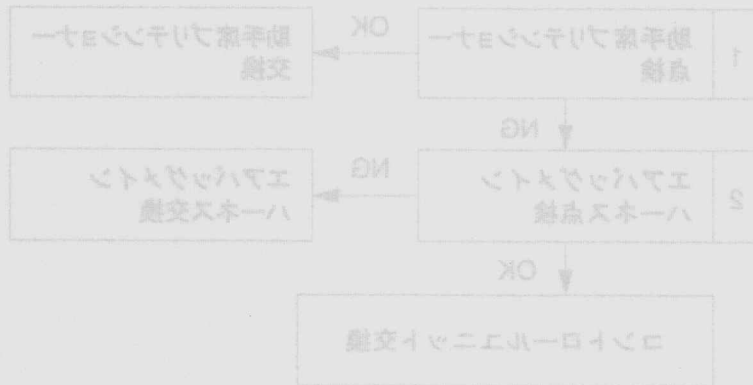
・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



エアバッグ

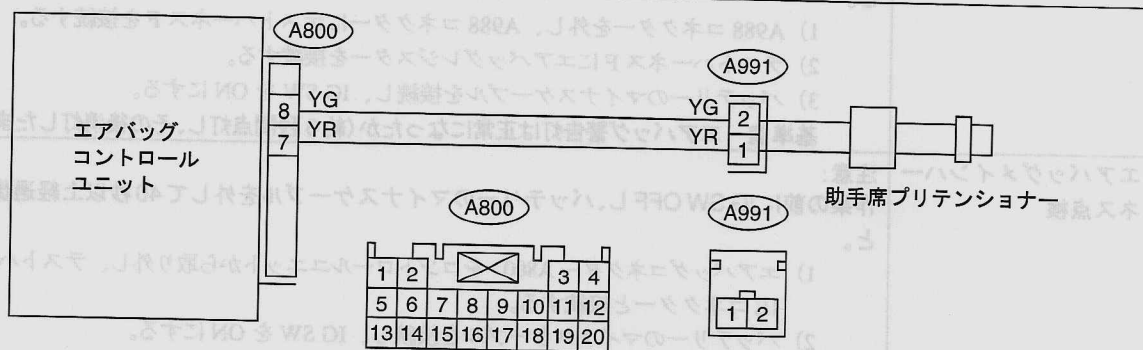
1 助手席エアバッグモジュール点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A988 コネクタを外し、A988 コネクタにテストハーネス F を接続する。 2) テストハーネス F にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ～ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ～ボディアース間 基準値 1 V 以下

エアバッグシステムの点検手順

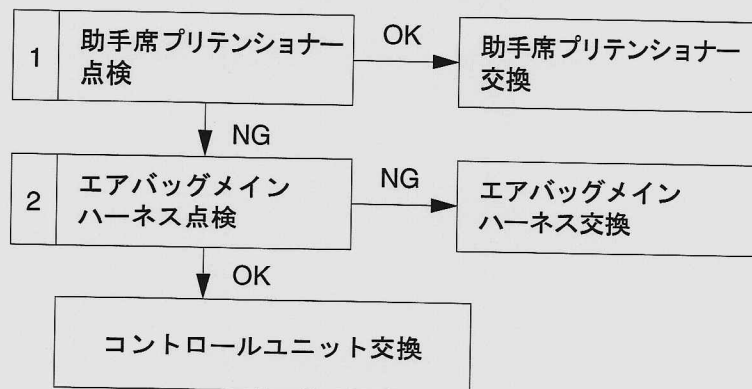


エアバッグ

H: コード 16 助手席プリテンショナー回路電源ショート (助手席プリテンショナー付車)



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



TB0643P

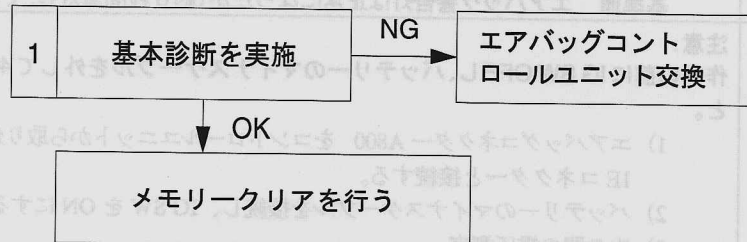
エアバッグ

1 助手席プリテンショナー点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) A991 コネクタを外し、A991 コネクタにテストハーネス N の 1N を接続する。 2) テストハーネス N の 2N にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 基準値 エアバッグ警告灯は正常になったか(約6秒間点灯し、その後消灯したままであること)
2 エアバッグメインハーネス点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 2 ～ボディアース間 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 5 ～ボディアース間 基準値 1 V 以下

908608T

I: コード 21 エアバッグコントロールユニット故障

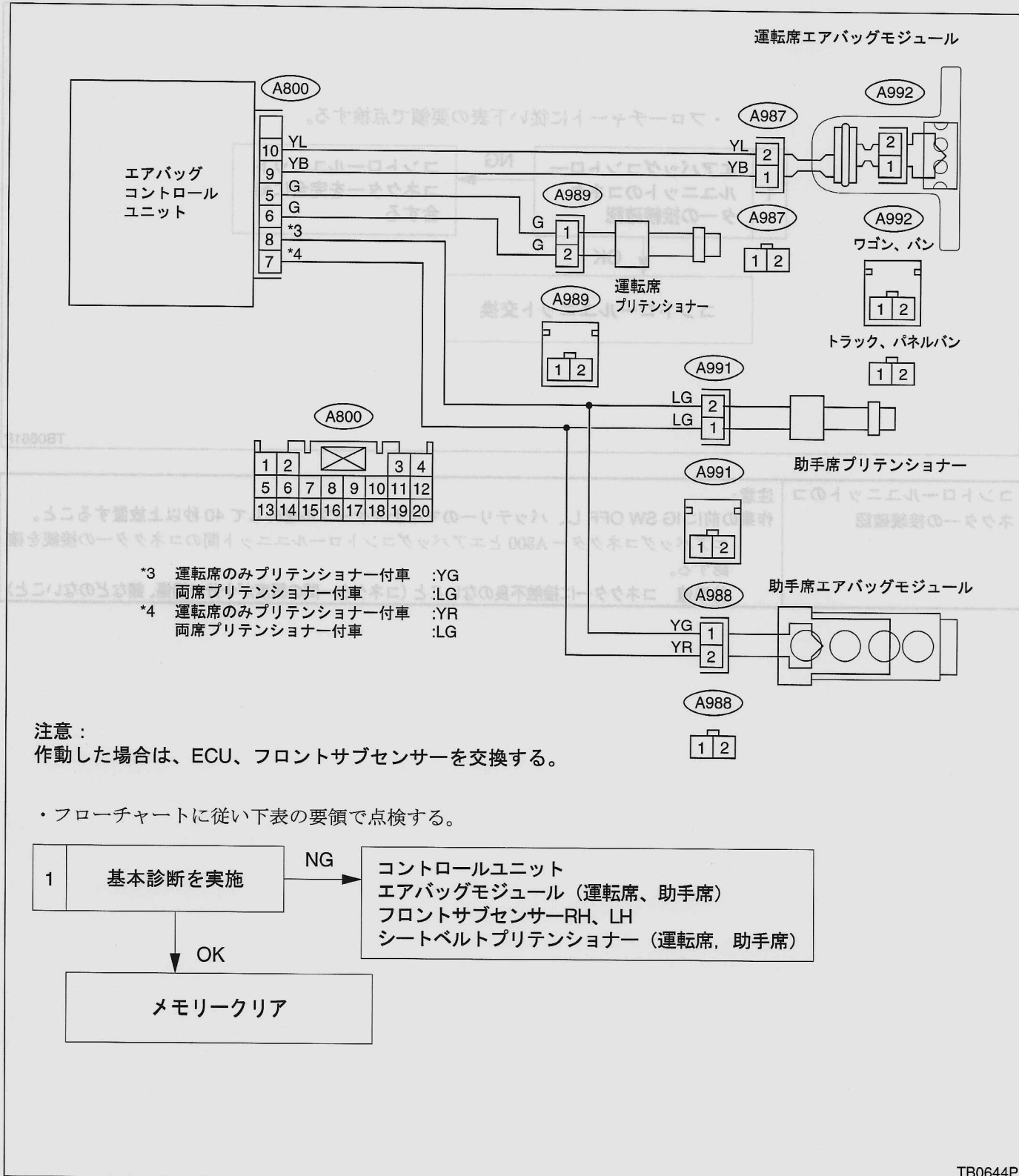
・フローチャートに従い下表の要領で点検する。



TB0660P

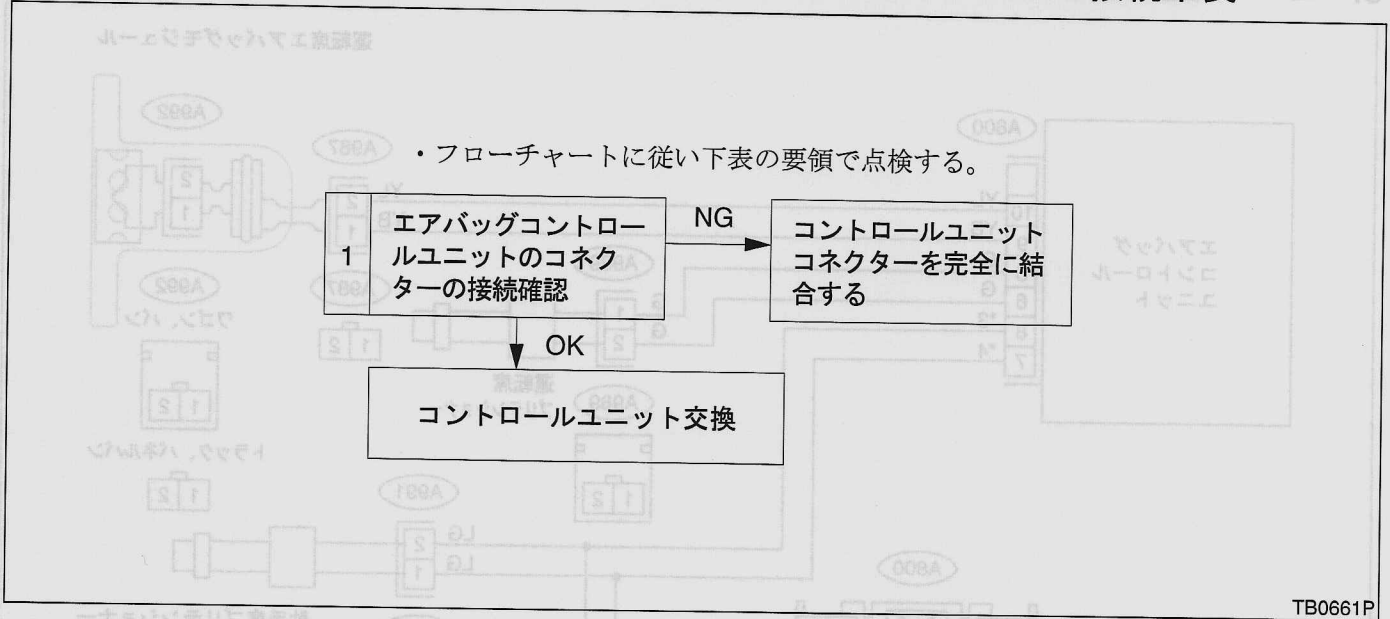
基本診断を実施	基本診断を実施する。 基準値 自己診断で故障コードが表示されないこと。 再度表示されないときはメモリークリアを行う。
---------	---

J: コード 22 フロントエアバッグ作動



基本診断を実施	基本診断を実施する。 基準値 自己診断で故障コードが表示されないこと。 再度表示されないときはメモリークリアを行う。
---------	---

K: コード 23 エアバッグコントロールユニットのコネクターの接続不良

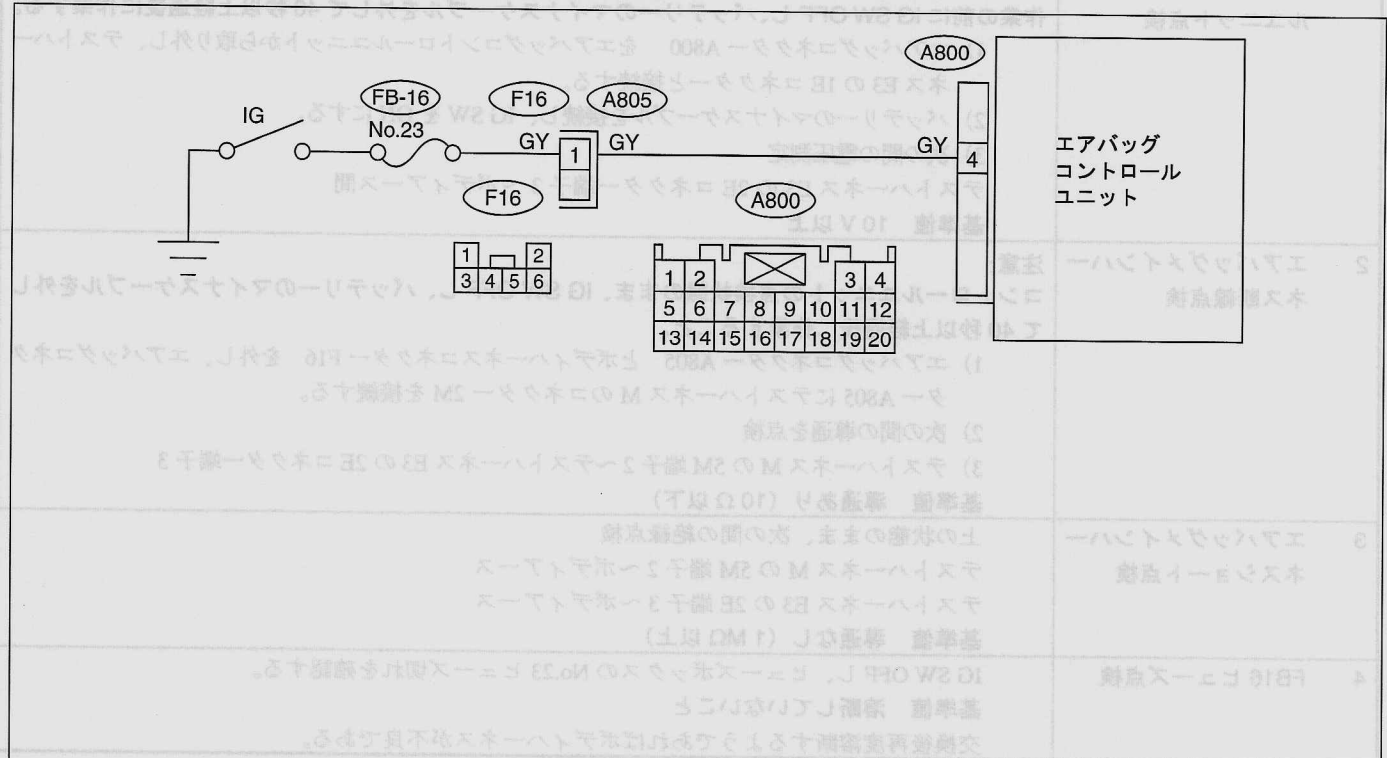


コントロールユニットのコネクターの接続確認

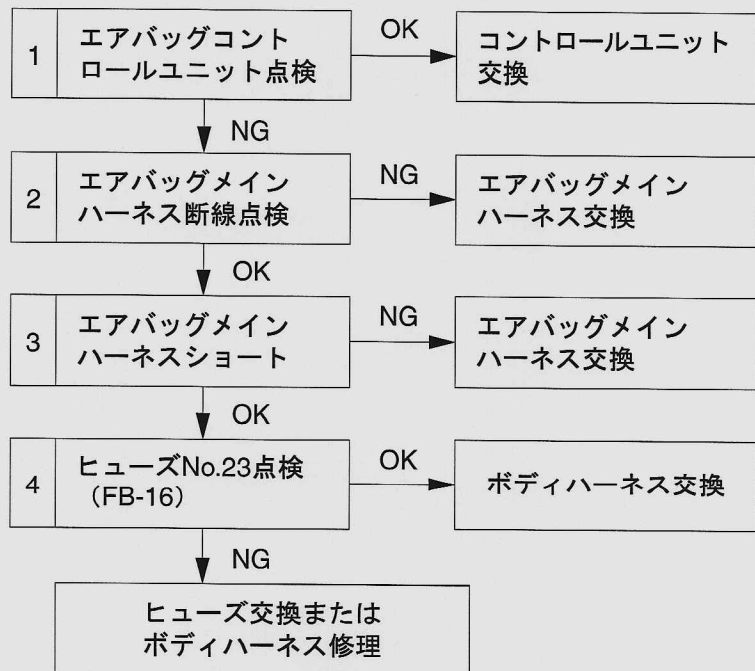
注意:

作業の前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上放置すること。
エアバッグコネクタ A800 とエアバッグコントロールユニット間のコネクタの接続を確認する。
基準値 コネクタに接触不良のないこと (コネクタ間の緊度が十分に損傷、錆などのないこと)

L: コード 24 エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)



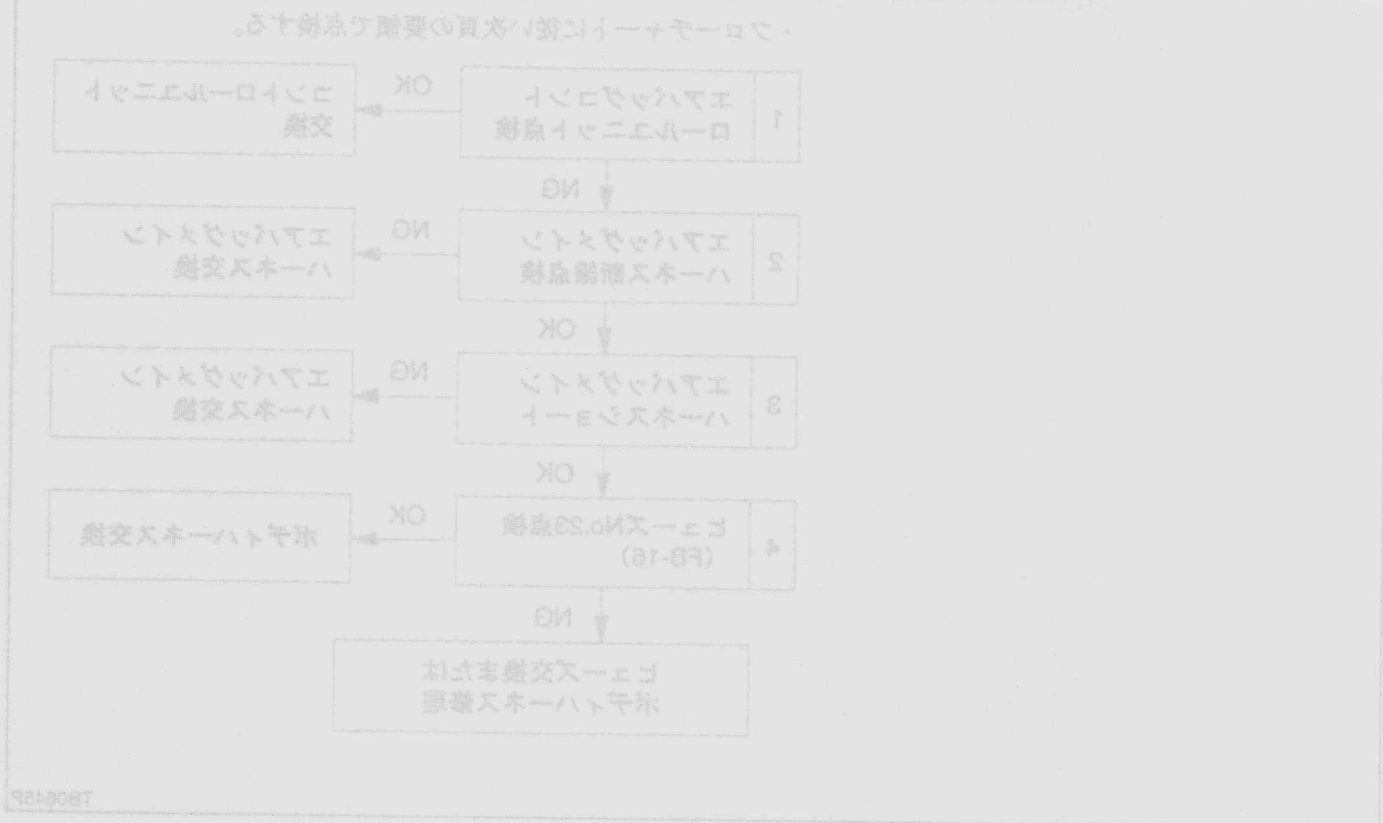
・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



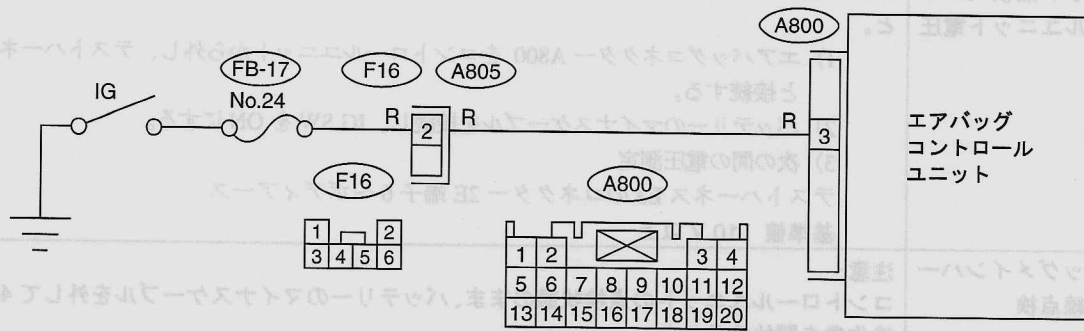
TB0645P

エアバッグ

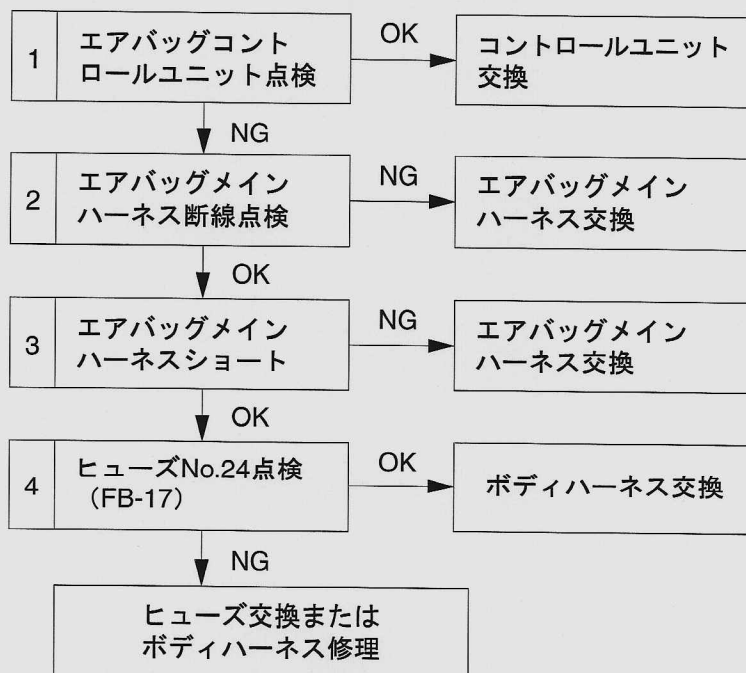
1	エアバッグコントロールユニット点検	注意: 作業の前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上経過後に作業する。 1) エアバッグコネクタ A800 をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 3 ～ボディアース間 基準値 10 V 以上
2	エアバッグメインハーネス断線点検	注意: コントロールユニットの点検状態のまま、IG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A805 とボディハーネスコネクタ F16 を外し、エアバッグコネクタ A805 にテストハーネス M のコネクタ 2M を接続する。 2) 次の間の導通を点検 3) テストハーネス M の 5M 端子 2 ～テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 3 基準値 導通あり (10 Ω 以下)
3	エアバッグメインハーネスショート点検	上の状態のまま、次の間の絶縁点検 テストハーネス M の 5M 端子 2 ～ボディアース テストハーネス E3 の 2E 端子 3 ～ボディアース 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)
4	FB16 ヒューズ点検	IG SW OFF し、ヒューズボックスの No.23 ヒューズ切れを確認する。 基準値 溶断していないこと 交換後再度溶断するようであればボディハーネスが不良である。



M: コード 25 エアバッグハーネス断線 (メイン、ボディ)

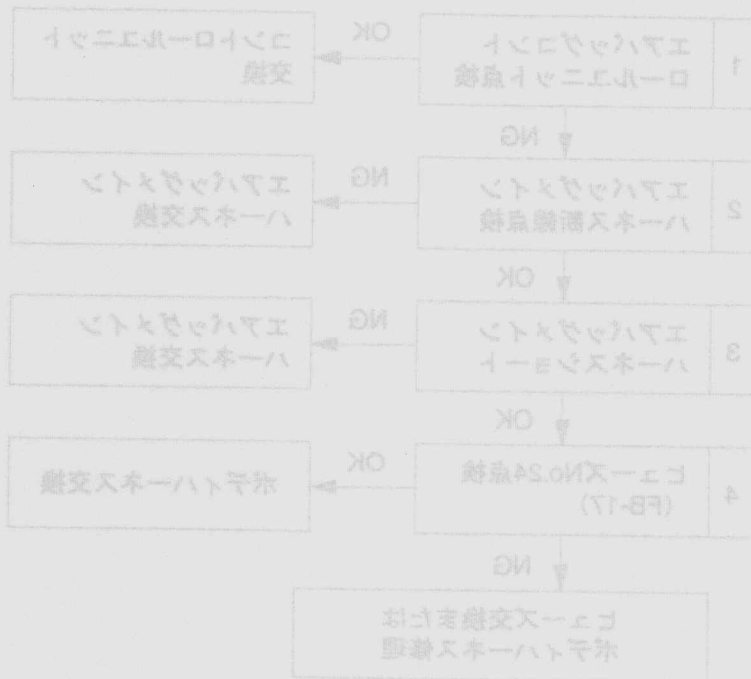


・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



エアバッグ

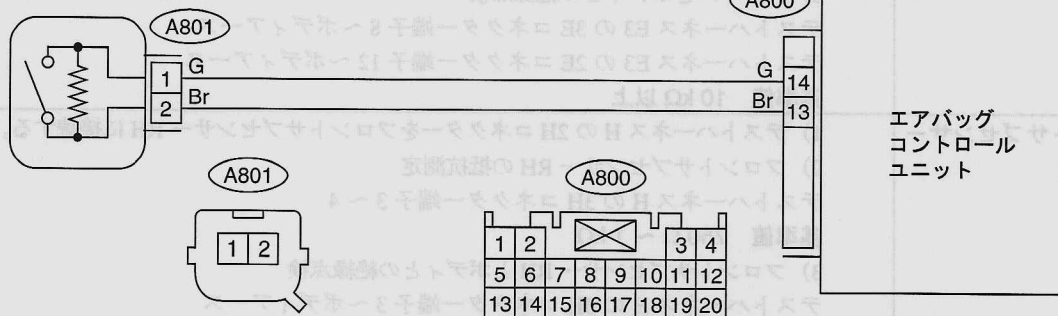
1	エアバッグコントロールユニット点検（コントロールユニット電圧点検）	注意： 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外し、テストハーネス E3 の 1E と接続する。 2) バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SW を ON にする。 3) 次の間の電圧測定 テストハーネス E3 のコネクタ 2E 端子 6 ～ボディアース 基準値 10 V 以上
2	エアバッグメインハーネス断線点検	注意： コントロールユニットの点検状態のまま、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後作業を開始すること。 1) エアバッグコネクタ A805 とボディハーネス F16 を分離し、エアバッグコネクタ A805 にテストハーネス M のコネクタ 2M を接続する。 2) 次の間の導通点検 テストハーネス M の 5M コネクタ端子 4 ～テストハーネス E2 のコネクタ端子 6 基準値 導通あり (10 Ω 以下)
3	エアバッグメインハーネスショート点検	上の状態のままで次の絶縁点検 テストハーネス M の 5M 端子 4 ～ボディアース テストハーネス E3 の 2E 端子 6 ～ボディアース 基準値 導通なし (1 MΩ 以上)
4	FB17 ヒューズ点検	IG SW OFF し、ヒューズボックス No.24 ヒューズ切れを確認する。 基準値 熔断していないこと 交換後、再度熔断するようであればボディハーネスが不良である。



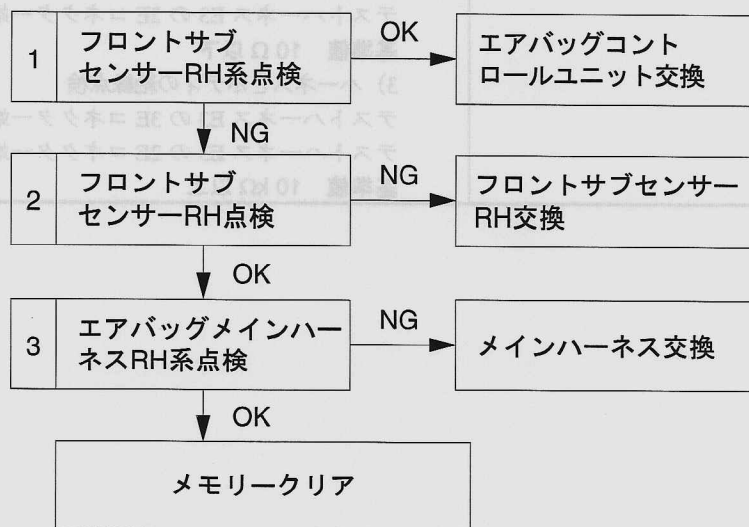
N: コード 31 フロントサブセンサー (RH) 系統 (プリテンショナー付車)

運転席、助手席エアバッグ + 運転席プリテンショナー付車
 運転席エアバッグ + 運転席、助手席プリテンショナー付車

フロントサブセンサー-RH



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



TB0647P

エアバッグ

1 フロントサブセンサー RH 系点検	注意: 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外し、テストハーネス E3 のコネクタ 1E と接続する。 • フロントサブセンサー RH とハーネス点検 2) フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 8 ~ 2E コネクタ端子 12 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 8 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 12 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
2 フロントサブセンサー RH 点検	1) テストハーネス H の 2H コネクタをフロントサブセンサー RH に接続する。 2) フロントサブセンサー RH の抵抗測定 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ 4 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) フロントサブセンサー RH とボディとの絶縁点検 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ ボディアース テストハーネス H の 3H コネクタ端子 4 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
3 エアバッグメインハーネス (RH 系) 点検	1) A801 ~ コネクタと A801 ボディコネクタにテストハーネス H のコネクタ 1H を接続する。 2) メインハーネスの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 8 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 5 テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 12 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 6 基準値 10 Ω 以下 3) ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 8 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 2E コネクタ端子 12 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上

O: コード 31 フロントサブセンサー (RH) 系統 (プリテンショナー無車)

運転席エアバッグのみ

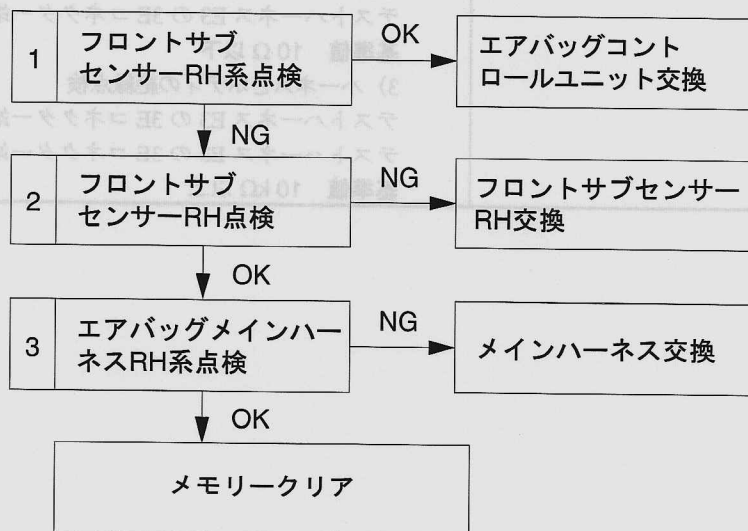
運転席、助手席エアバッグのみ

注意:

プリテンショナー付車は、3-67ページを参照すること。誤ってプリテンショナー付車に下記点検を行うと運転席プリテンショナーが作動し、怪我をする恐れがある。



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



TB0648P

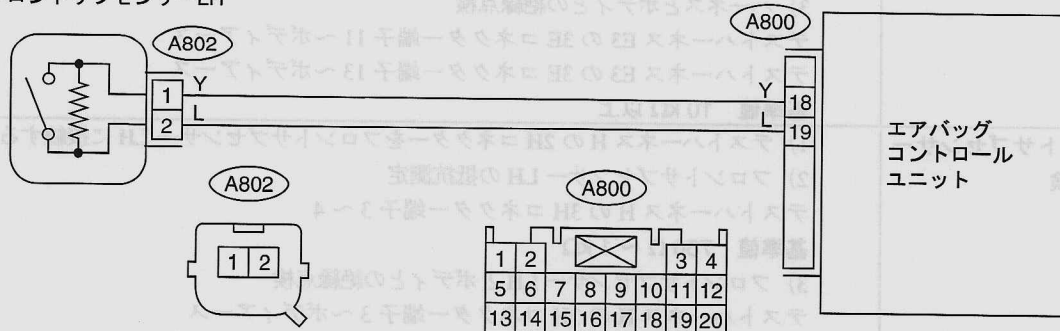
エアバッグ

1 フロントサブセンサー RH 系点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外し、テストハーネス E3 のコネクタ 1E と接続する。 • フロントサブセンサー RH とハーネス点検 2) フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 2 ~ 3E コネクタ端子 4 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 2 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 4 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
2 フロントサブセンサー RH 点検	1) テストハーネス H の 2H コネクタをフロントサブセンサー RH に接続する。 2) フロントサブセンサー RH の抵抗測定 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ 4 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) フロントサブセンサー RH とボディとの絶縁点検 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ ボディアース テストハーネス H の 3H コネクタ端子 4 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
3 エアバッグメインハーネス (RH 系) 点検	1) A801 ~ コネクタと A801 ボディコネクタにテストハーネス H のコネクタ 1H を接続する。 2) メインハーネスの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 2 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 5 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 4 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 6 基準値 10 Ω 以下 3) ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 2 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 4 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上

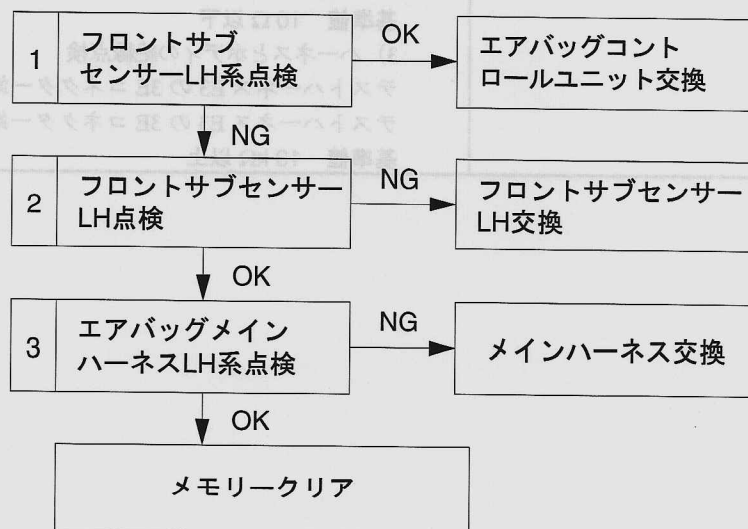
P: コード 32 フロントサブセンサー (LH) 系統 (プリテンショナー付車)

運転席、助手席エアバッグ + 運転席プリテンショナー付車
 運転席エアバッグ + 運転席、助手席プリテンショナー付車

フロントサブセンサーLH



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。



TB0649P

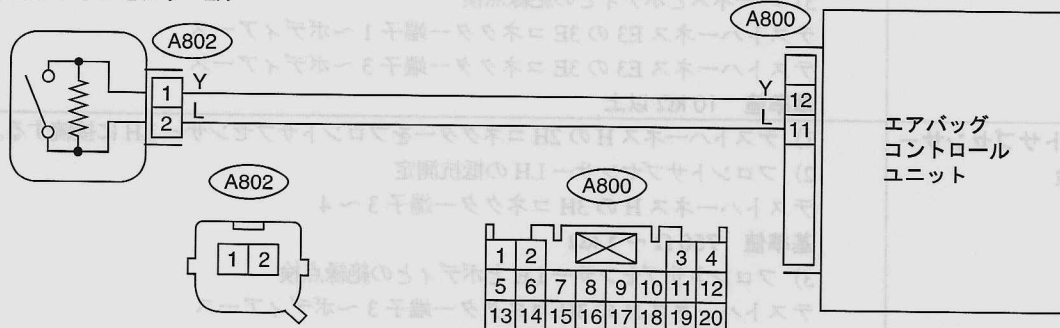
エアバッグ

1 フロントサブセンサー LH 系点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して40秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外し、テストハーネス E3 のコネクタ 1E と接続する。 • フロントサブセンサー LH とハーネス点検 2) フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 11 ~ 13 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 11 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 13 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
2 フロントサブセンサー LH 点検	1) テストハーネス H の 2H コネクタをフロントサブセンサー LH に接続する。 2) フロントサブセンサー LH の抵抗測定 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ 4 基準値 750 Ω ~ 1 kΩ 3) フロントサブセンサー LH とボディとの絶縁点検 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ~ ボディアース テストハーネス H の 3H コネクタ端子 4 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
3 エアバッグメインハーネス (LH 系) 点検	1) A802 コネクタと A802 ボディコネクタにテストハーネス H のコネクタ 1H を接続する。 2) メインハーネスの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 13 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 6 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 11 ~ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 5 基準値 10 Ω 以下 3) ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 13 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 11 ~ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上

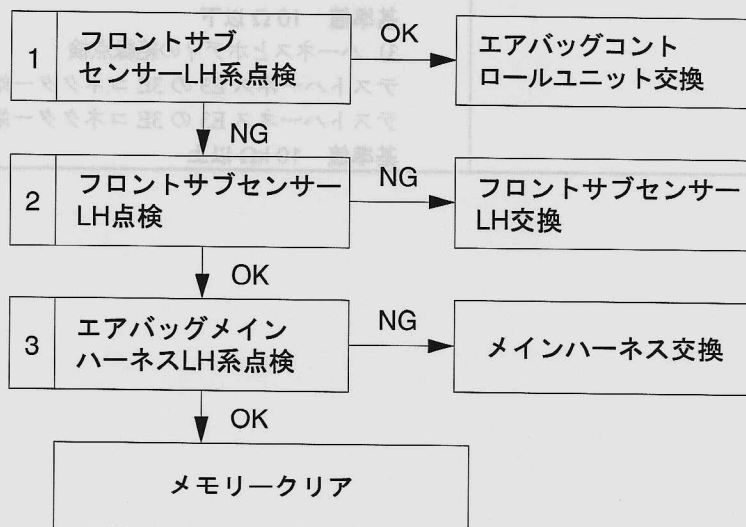
Q: コード 32 フロントサブセンサー (LH) 系統 (プリテンショナー無車)

運転席のみエアバッグ
運転席、助手席エアバッグ

フロントサブセンサーLH



・フローチャートに従い次頁の要領で点検する。

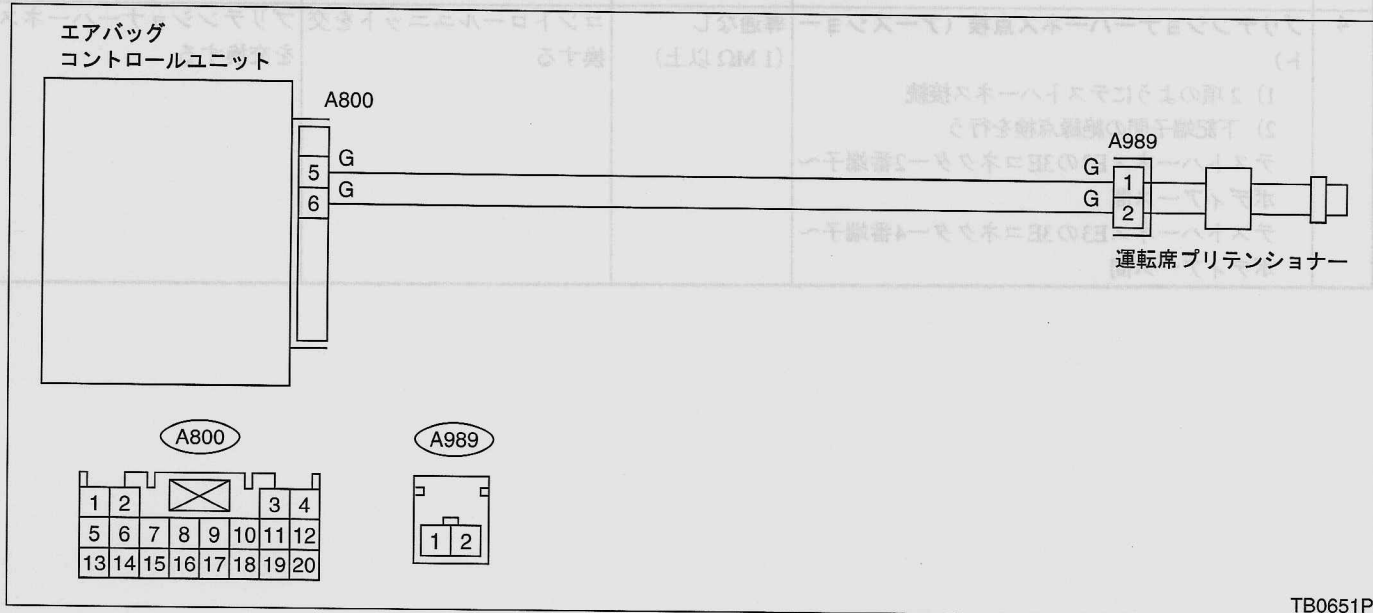


TB0650P

エアバッグ

1 フロントサブセンサー LH 系点検	注意: 作業の前にIG SW OFF し、バッテリーのマイナスケーブルを外して 40 秒以上経過後に作業すること。 1) エアバッグコネクタ A800 をコントロールユニットから外し、テストハーネス E3 のコネクタ 1E と接続する。 • フロントサブセンサー LH とハーネス点検 2) フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 1 ～ 3 基準値 750 Ω ～ 1 kΩ 3) ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 1 ～ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 3 ～ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
2 フロントサブセンサー LH 点検	1) テストハーネス H の 2H コネクタをフロントサブセンサー LH に接続する。 2) フロントサブセンサー LH の抵抗測定 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ～ 4 基準値 750 Ω ～ 1 kΩ 3) フロントサブセンサー LH とボディとの絶縁点検 テストハーネス H の 3H コネクタ端子 3 ～ ボディアース テストハーネス H の 3H コネクタ端子 4 ～ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上
3 エアバッグメインハーネス (LH 系) 点検	1) A802 コネクタと A802 ボディコネクタにテストハーネス H のコネクタ 1H を接続する。 2) メインハーネスの抵抗測定 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 3 ～ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 5 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 1 ～ テストハーネス H の 3H コネクタ端子 6 基準値 10 Ω 以下 3) ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 3 ～ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ端子 1 ～ ボディアース 基準値 10 kΩ 以上

R: コード 61 運転席プリテンショナーハーネス不良



注意:

作業前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナス端子を外して 40 秒以上放置すること。

手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	プリテンショナー点検 1) プリテンショナーからコネクタ A989 を分離、A989にテストハーネス N の 1N を接続 2) テストハーネス N の 2N にエアバッグレジスターを接続する。 3) バッテリーのマイナス端子を接続し、IGSW ON してエアバッグ警告灯の点灯状態を見る。	エアバッグ警告灯が正常に点灯 (約 6 秒間点灯し、その後消灯したままであること)	プリテンショナーを交換する (アウターベルト)	手順 2 のプリテンショナーハーネス (断線) の点検を行う
2	プリテンショナーハーネス点検 (断線) 1) テストハーネス N の 1N コネクタを A989 に接続 2) エアバッグコントロールユニットからコネクタ A800 を分離、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続 3) 下記端子間の導通点検を行う テストハーネス E3 の 3E コネクタ 2 番端子 ~ テストハーネス N の 2N コネクタ 2 番端子 テストハーネス E3 の 3E コネクタ 4 番端子 ~ テストハーネス N の 2N コネクタ 1 番端子	導通あり (10 Ω 以下)	手順 3 のプリテンショナーハーネス (線間ショート) の点検を行う	プリテンショナーハーネスを交換する
3	プリテンショナーハーネス点検 (線間ショート) 1) 2 項のようにテストハーネス接続 2) 下記端子間の絶縁点検を行う テストハーネス E3 の 3E コネクタ 4 番端子と 3E コネクタの 2 番端子	導通なし (1 MΩ 以上)	手順 4 のプリテンショナーハーネス (アースショート) の点検を行う	プリテンショナーハーネスを交換する

エアバッグ

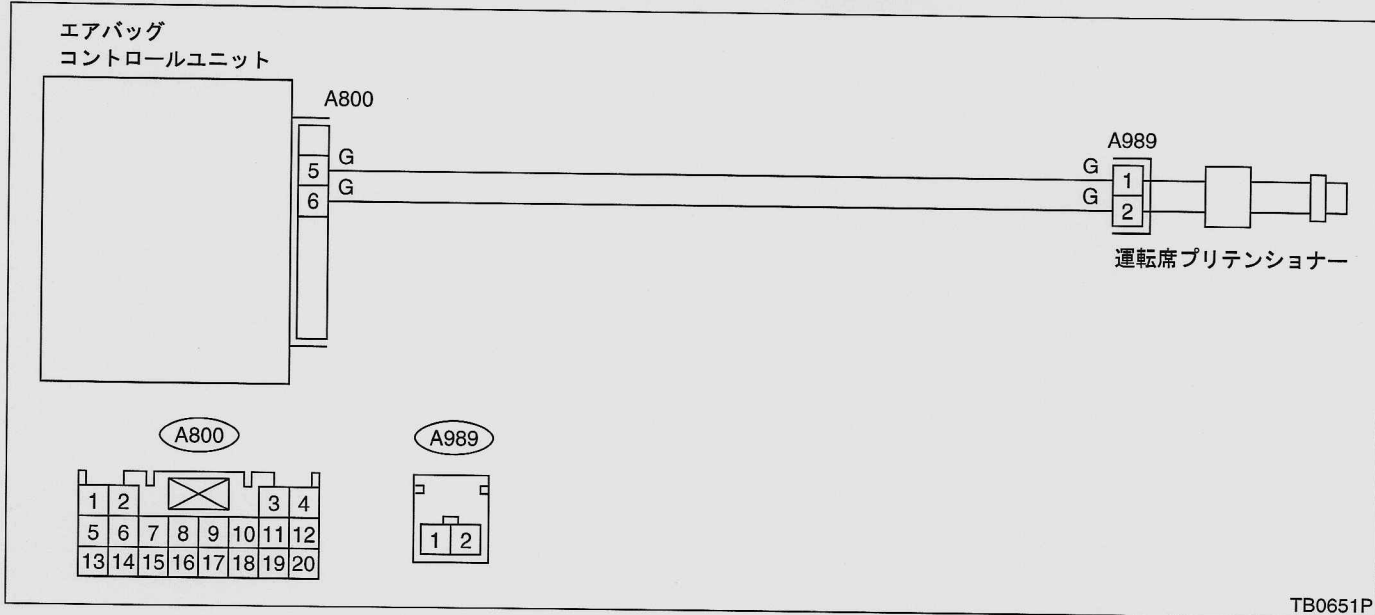
手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
4	プリテンショナーハーネス点検（アースショート） 1) 2項のようにテストハーネス接続 2) 下記端子間の絶縁点検を行う テストハーネスE3の3Eコネクタ2番端子～ボディアース間 テストハーネスE3の3Eコネクタ4番端子～ボディアース間	導通なし (1 MΩ 以上)	コントロールユニットを交換する	プリテンショナーハーネスを交換する 

注意

エアバッグの点検は、必ずエアバッグの点検手順に従って行うこと。

検査の代表基準	検査の内部基準	検査基準	検査項目	結果
エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	1
エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	2
エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	エアバッグの点検（絶縁）	3

S: コード 65 運転席プリテンショナーハーネス電源ショート



注意:

作業前に IG SW OFF し、バッテリーのマイナス端子を外して 40 秒以上放置すること。

手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	プリテンショナー点検 1) プリテンショナーからコネクタ A989 を分離、A989にテストハーネス N の 1N を接続 2) テストハーネス N の 2N にエアバッグレジスターを接続 3) バッテリーマイナス端子を接続し、IGSW ON してエアバッグ警告灯の点灯状態を見る	エアバッグ警告灯が正常に点灯 (約 6 秒間点灯し、その後消灯したままであること)	プリテンショナーを交換する (アウターベルト)	手順 2 のプリテンショナーハーネス (断線) 点検を行う
2	プリテンショナーハーネス点検 (断線) 1) コネクタ A989 を分離 2) エアバッグコントロールユニットからコネクタ A800 を分離、テストハーネス E3 の 1E コネクタと接続 3) IG SW ON し、下記端子間の電圧測定を行う テストハーネス E3 の 3E コネクタ 2 番端子 ~ ボディアース テストハーネス E3 の 3E コネクタ 4 番端子 ~ ボディアース	1 V 以下	コントロールユニットを交換する	プリテンショナーハーネスを交換する

エアバッグ